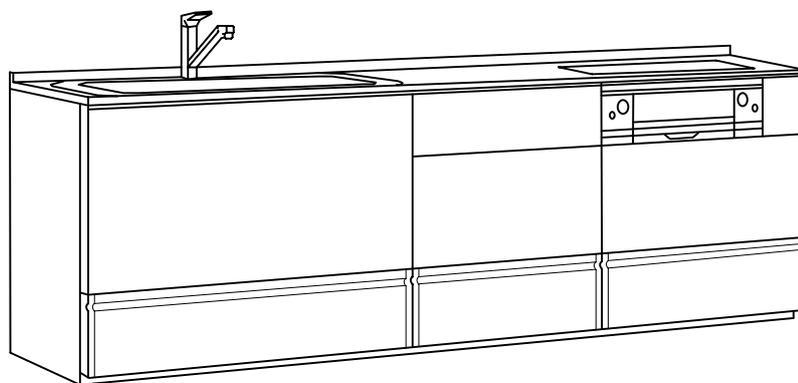
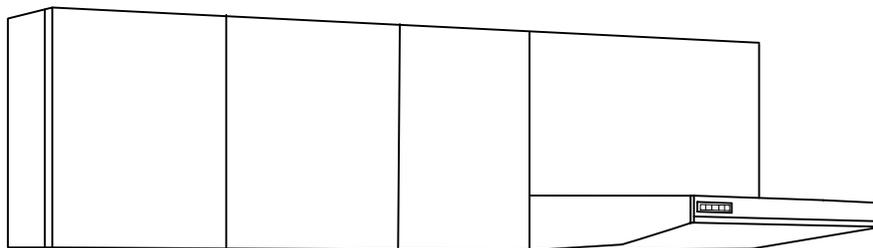


ホーロー システムキッチン 設置説明書



もくじ

1. 設置される方へのお願い	1
2. 安全上のご注意	2~3
3. 設置前のご確認	3
4. 設置方法	4~30
5. 仕上げ	31
6. 安全点検および試運転	31
7. お願い事項	31

1. 設置される方へのお願い

- キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は、ワークトップおよびフロアキャビネットのものです。その他のキャビネットやビルトイン機器および水栓金具については、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- ワークトップ高さが820・850mm以外の場合は、台輪スペーサーに付属の設置説明書を合わせてお読みください。
- 設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

- 表示内容を見逃して誤った設置作業をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。



手袋をしなくて切断面に触ると、けがをすることがあります。

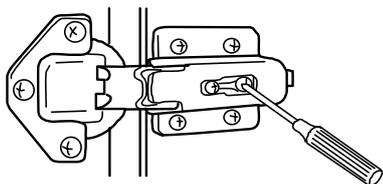
電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタつき・丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをすることがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示に注意して、正しくお使いください。



誤った使い方をすると、人体に影響がでたり使用部材の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。



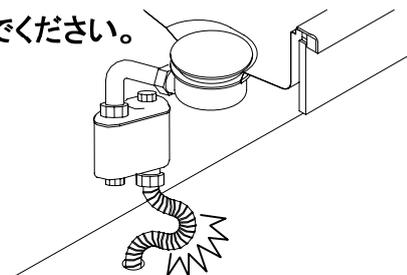
取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジのゆるみや浮きのないように、正しく取付けてください。



取付方法を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けしないでください。



排水能力が低下して、シンクから水があふれ床を汚すおそれがあります。

キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。



設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。



棚受けがはずれ、食器などが落下してけがをするおそれがあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないように十分注意してください。

設置作業中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

汚れを取る場合は水ぶきまたは中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

3. 設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
- 設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
- 下記の項目についてその位置を確認してください。
 - (1) 給水給湯管・排水管位置
 - (2) 建築側のガス管・電気配線接続位置
 - (3) レンジフードの排気口位置
 - (4) 機器類の電気配線位置
- ガス種、電圧(100V、200V)、周波数(50Hz、60Hz)を確認してください。
- オプション水栓については、付属の説明書をお読みください。

4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

1. 台輪スペーサーの取付
- 2. 吊戸棚・レンジフードの取付
- 3. エンドカバーの取付
- 4. 間口調整フィラー・見切り対応フィラーの取付
- 5. ベースキャビネット設置前の準備作業
- 6. ベースキャビネットの設置
- 7. 水栓の取付
- 8. ワークトップの設置
- 9. 加熱機器の設置
- 10. スペーサーキャビネットの設置
- 11. 食器洗い乾燥機の設置
- 12. 配管蓋・点検口蓋の穴加工
- 13. 排水部品の取付
- 14. 排水管の接続
- 15. 給水・給湯管と水栓の接続
- 16. エンドパネルの取付
- 17. その他部品の取付
- 18. 扉の調整

1. 台輪スペーサーの取付(ワークトップ高さ820・850mm以外の場合のみ)

台輪スペーサーに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

2. 吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、シンクキャビネットに付属の設置説明書にしたがって行ってください。
レンジフードの取付は、レンジフードに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

3. エンドカバーの取付

エンドカバーに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

4. 間口調整フィラー・見切り対応フィラーの取付

フィラーに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

5. ベースキャビネット設置前の準備作業

【1. 扉・引出の取りはずし】

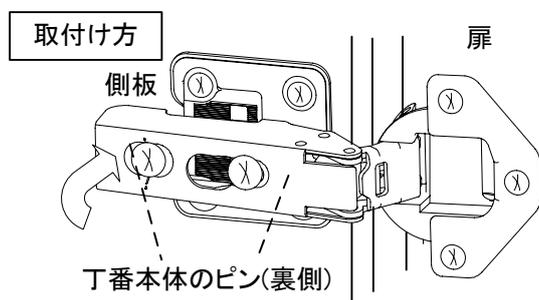
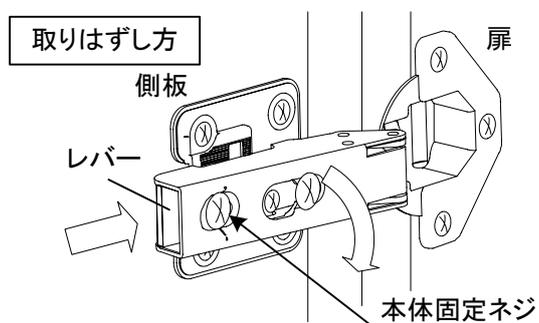
<扉>

①取りはずし方

丁番プレート後部のレバーを持ち上げながら丁番本体前部を引き上げると、丁番本体が丁番プレートからはずれます。
※扉を全開して上記作業を行うと簡単にはずれます。

②取付け方

丁番本体前部のピンを丁番プレート前部のツメに引っ掛け、丁番本体を丁番プレートにかぶせるようにしてカチッと音がするまで押し込んでください。



<コーナーキャビネットの扉が140° 開きの場合>

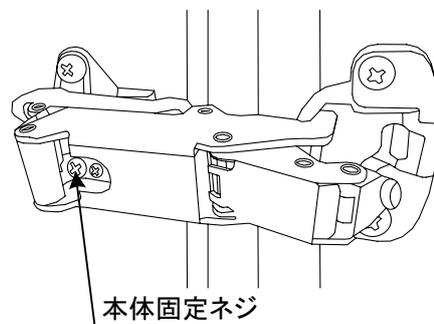
①取りはずし方

本体固定ネジをゆるめ、扉を手前に引いてとりはずしてください。

注) 本体固定ネジははずさないでください。

②取付け方

取りはずし方の逆の要領で、丁番本体を本体固定ネジに差込み、本体固定ネジを締め付けてください。



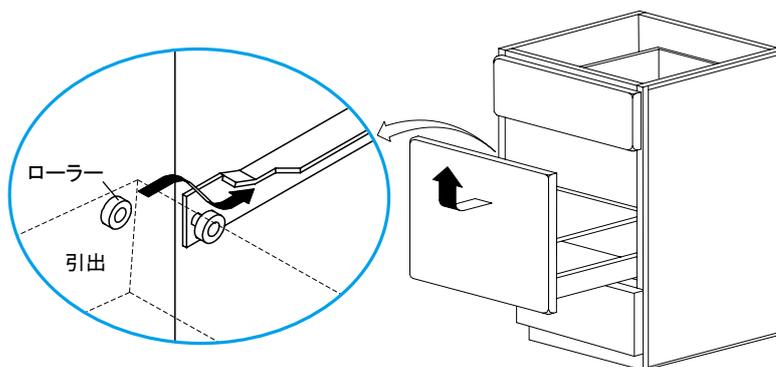
<引出(ローラーレールタイプの場合)>

①取りはずし方

引き出した状態で、上へ持ち上げながら引き抜いてください。

②取付け方

引出のローラーをレールにすべりこませてください。



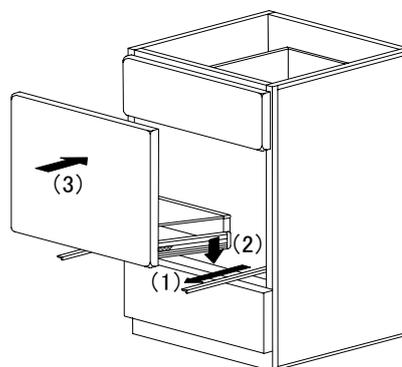
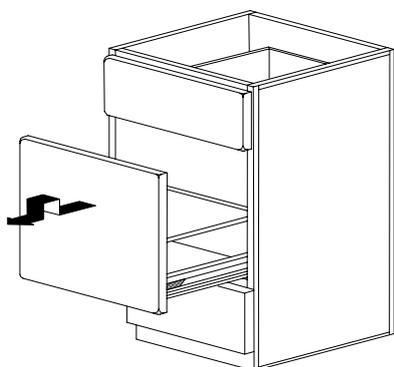
<引出(ソフトクローズタイプの場合)>

①取りはずし方

全開にした状態で、少し持ち上げてロックを解除してから手前に引き抜いてください。

②取付け方

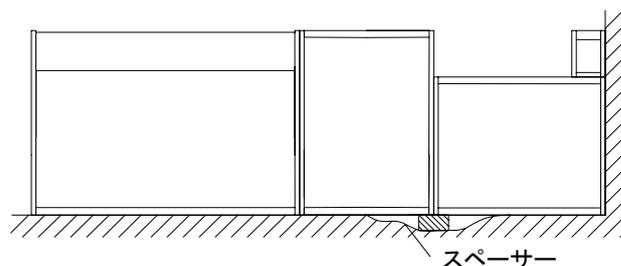
レールを手前に引き出し、その上に引出をのせて奥まで押し込んでください。



注) 15間口調理キャビネット(F-TFN15)の場合は、キャビネットに付属の取扱説明書を参照してください。

【2. 床面のレベル出し】

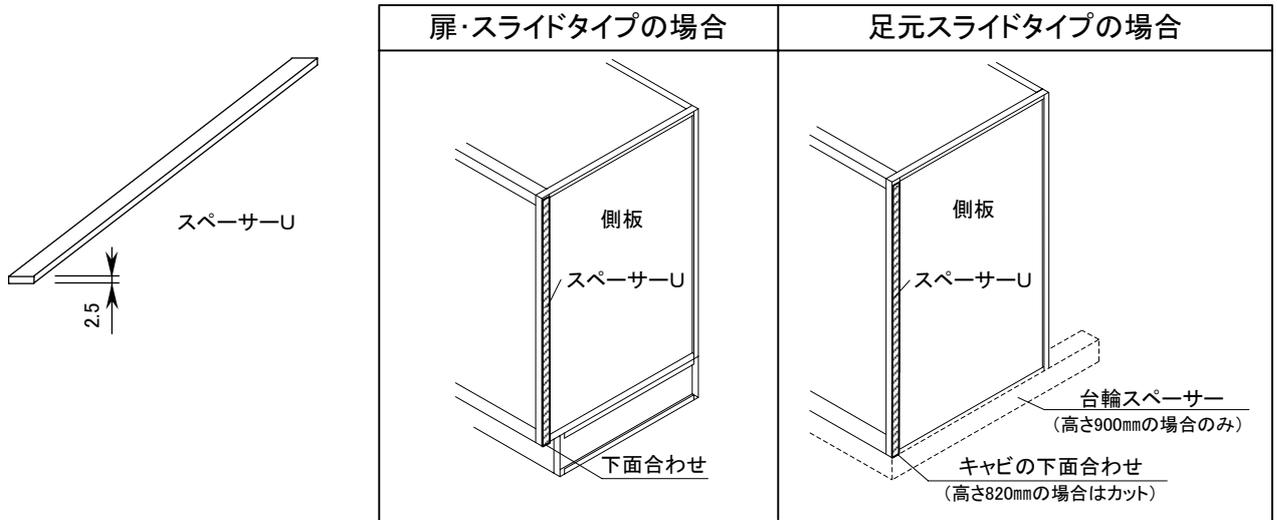
キャビネットを仮置きし、床面のレベルが出ていない場合は、床とキャビネットの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



【3. スペーサーU(間口調整用)の貼付】

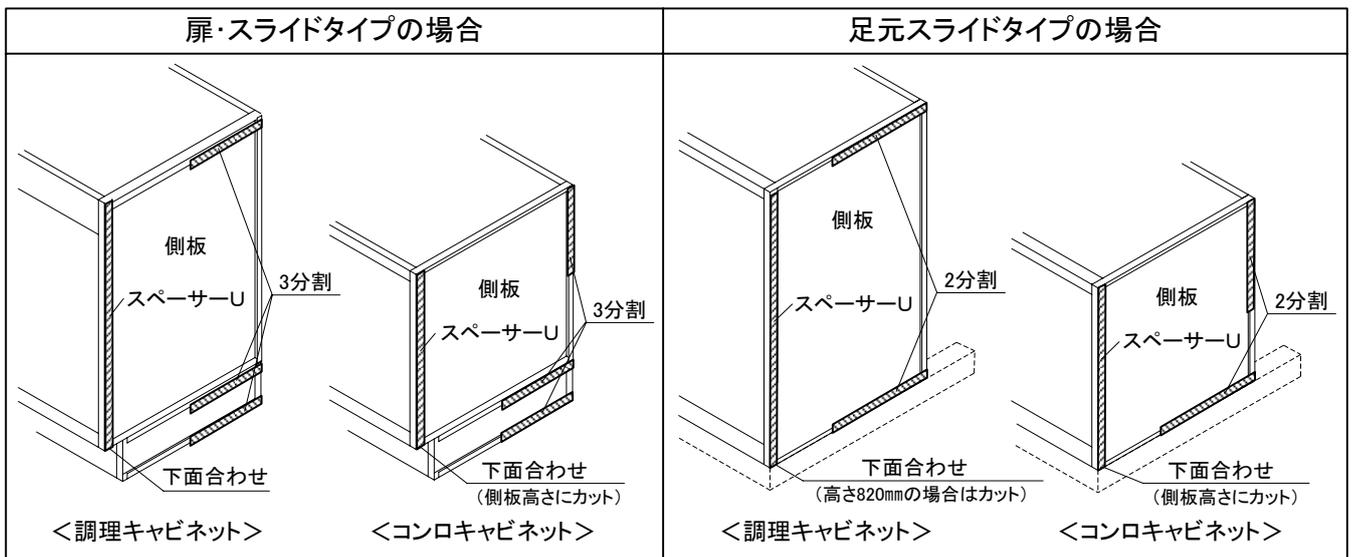
仮置きしたキャビネット間口(エンドカバー、エンドパネル、フィラーを含む)を測定し、ワークトップ間口との差に合わせてスペーサーU(t2.5mm)をキャビネットに貼付けます。

① クローズ側のセットエンドの側板に1枚(手前のみ)貼付けてください。



② ①だけでは足りない場合は、2枚を必要に応じてカットしてキャビネット間の側板に貼付けてください。

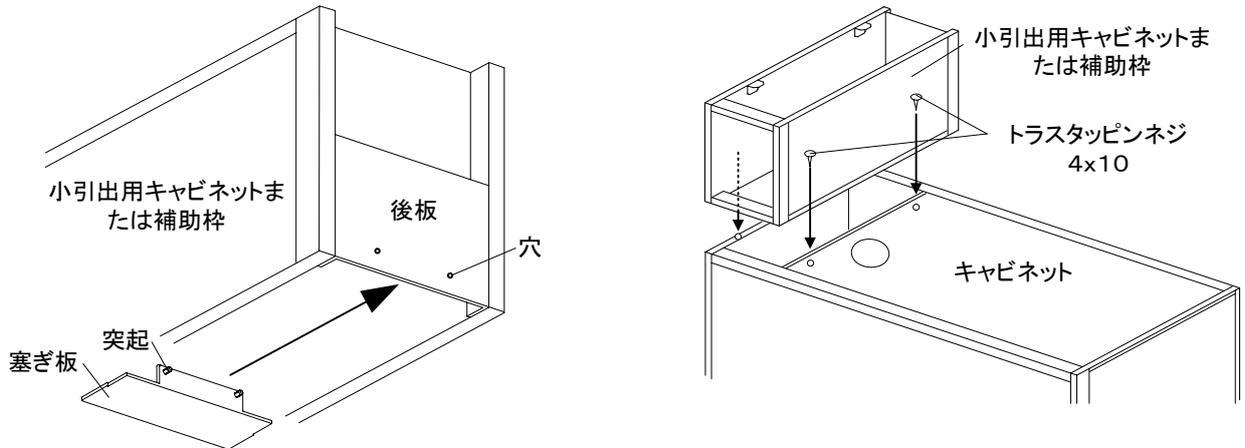
- 注) ●ビルトインレンジおよび食器洗い乾燥機と隣接する箇所には貼付けないでください。
- コンロキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、コンロキャビネット側に貼付けてください。
 - シンクキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、他のキャビネット側に貼付けてください。



6. ベースキャビネットの設置

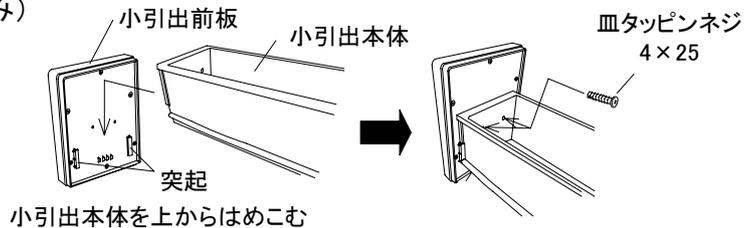
【1. コンロキャビネットの組立】

- ①小引出用キャビネットまたは補助枠の後板に塞ぎ板を取付けてください。
- ②キャビネット上面に小引出用キャビネットまたは補助枠をネジ4本で取付けてください。



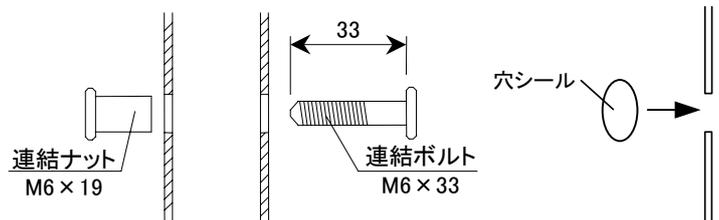
- ③小引出本体を小引出前板の突起に上からはめ込み、ネジ2本で固定してください。
(60間口スライド・足元スライドタイプの場合のみ)

注) ネジを強く締めすぎると、ネジが
きかなくなるおそれがあります。

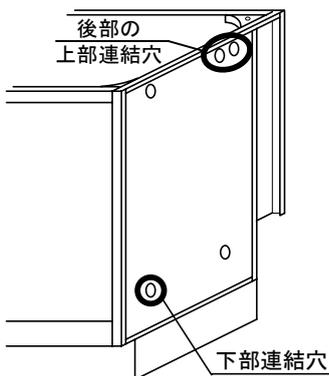


【2. キャビネットの連結】

- ①キャビネットの側板の連結穴より、連結ボルト連結ナットで隣接するキャビネットを連結してください。
- ②連結後、使用しない下部連結穴には穴シールを貼付けてください。



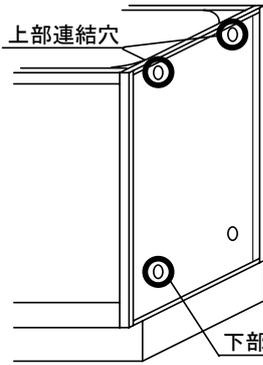
- 注) ●下部の連結はキャビネット間にスキ間があかないようにするために行ないます。
連結するキャビネットを密着させた状態で軽く締め付けてください。
強く締め付けすぎるとキャビネットが変形し、引出が脱輪したり引出の開閉が重くなるおそれがあります。
- 電気ドライバーは使用しないでください。
 - 設置完了後に引出の開閉を確認して、重いようであれば下部の連結を緩めて調整してください。
 - 後部の上部連結穴は、穴が2箇所開いている場合があります。
連結するキャビネットに合う位置で連結してください。
 - スライドタイプ(ソフトクローズレール)のシンクキャビネットの場合、レールとの干渉を避けるため、下部の連結は連結ナットをシンクキャビネット側に使用してください。



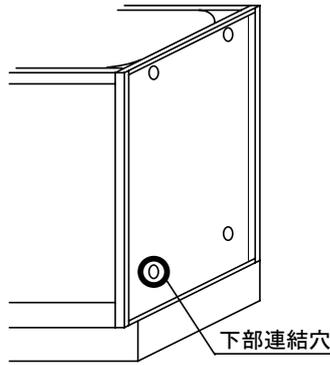
●スライドタイプ(ソフトクローズレール)のシンクキャビネットの下部連結

連結ナットをシンクキャビネット側を使用した場合	連結ボルトをシンクキャビネット側を使用した場合

◎扉・スライドタイプ同士の連結の場合

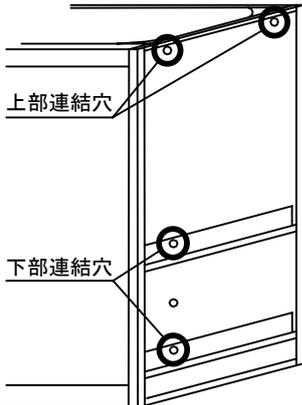


<シンク・調理キャビネットとの連結>

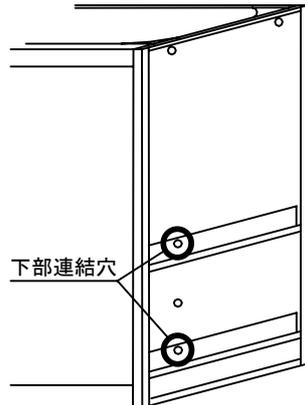


<コンロキャビネット
食器洗い乾燥機キャビネットとの連結>

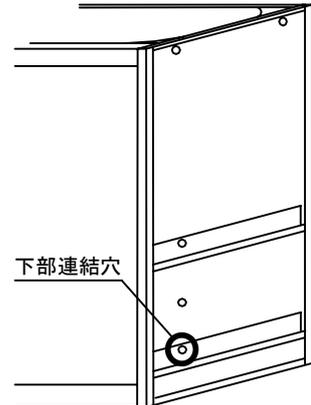
◎足元スライドタイプ同士の連結の場合



<シンク・調理キャビネットとの連結>

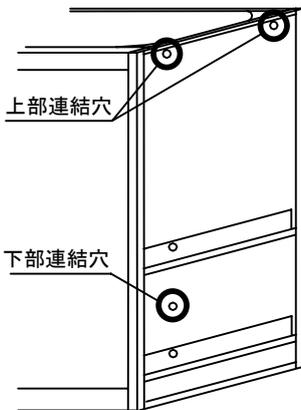


<コンロキャビネットとの連結>

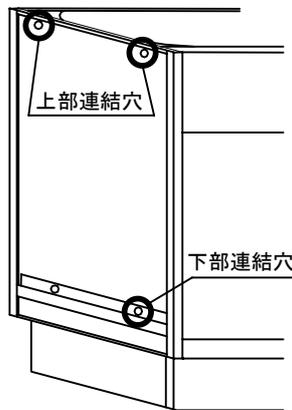


<食器洗い乾燥機キャビネットとの連結>

◎扉・スライドタイプと足元スライドタイプの連結の場合



<足元スライドタイプ>

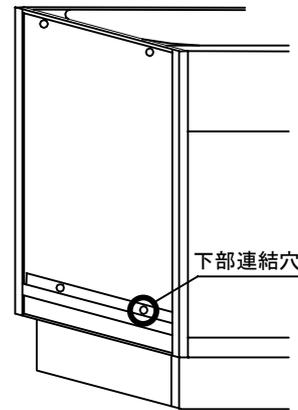


<扉・スライドタイプ>

<両側ともシンク・調理キャビネットの場合>



<足元スライドタイプ>



<扉・スライドタイプ>

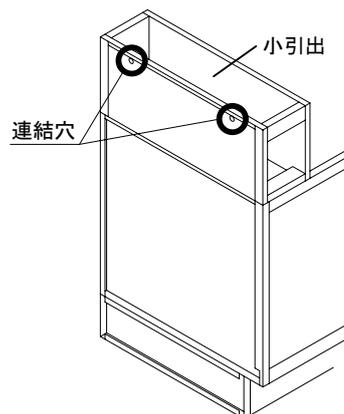
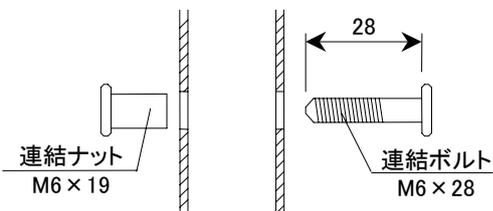
<片方がコンロキャビネットの場合>

◎側板厚み15mmキャビネットと側板厚み20mmキャビネットの連結の場合

以下のキャビネットは側板厚みが15mmです。

- ・コンロキャビネットの小引出部
- ・15間口調理キャビネット

キャビネットを連結する場合は、キャビネットに付属の短い連結ボルトを用いて連結してください。



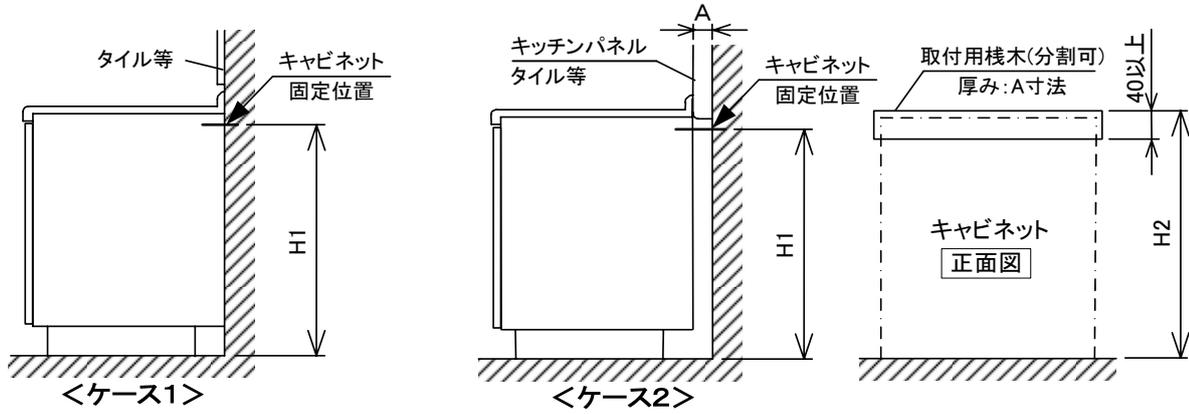
【3. シンクキャビネットの壁固定】

①取付用栈木の取付(下図ケース2の場合のみ)

キャビネットが設置される奥壁部に取付用栈木(ケース2のA寸法に合わせた木質材:現場手配)を皿ネジ等(頭が出ないもの)で取付けてください。

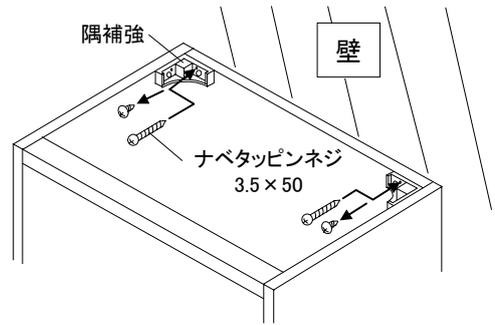
	ワークトップ高さ(mm)		
	900	850	820
H1(mm)	865	815	786
H2(mm)	885	835	806

注) ●ワークトップ高さによって取付高さが異なります。
●セットの外側にはみ出さないようにしてください。
●取付用栈木のネジ打ちは後壁の栈木のある所に行ってください。



②キャビネット奥側の隅補強を止めているネジ2本をはずして、そのネジ穴から壁面へネジで固定してください。

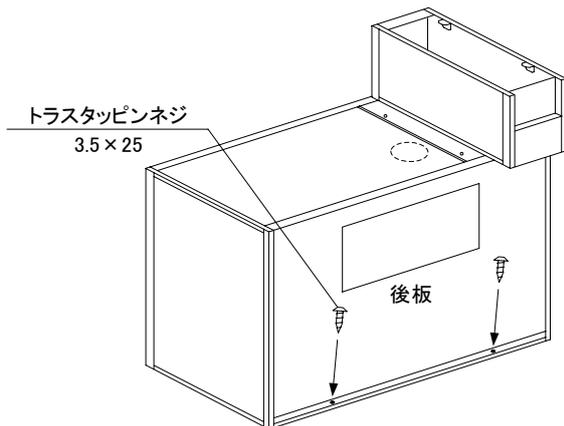
注) 窓下用キッチンパネルがネジ打ち位置にかぶる場合は、キッチンパネルに穴加工して防錆処理を行ってからネジで固定してください。



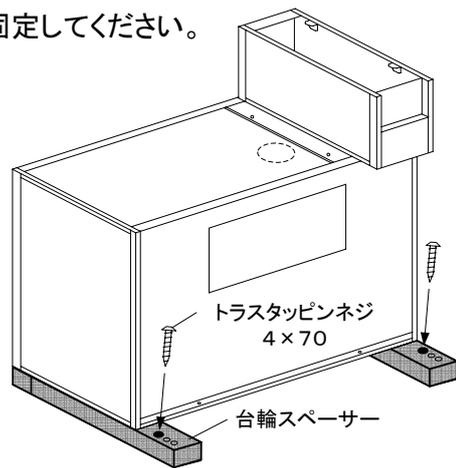
【4. キャビネットの床固定】

<コンロキャビネットの場合>

キャビネットの後板または台輪スペーサーから床面にネジで固定してください。



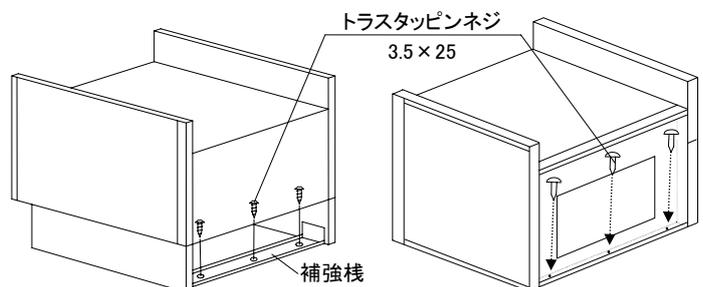
〔ワークトップ高さ850・820mmの場合〕



〔ワークトップ高さ900mmの場合〕

<食器洗い乾燥機用キャビネットの場合>

補強栈または後板よりネジで固定してください。

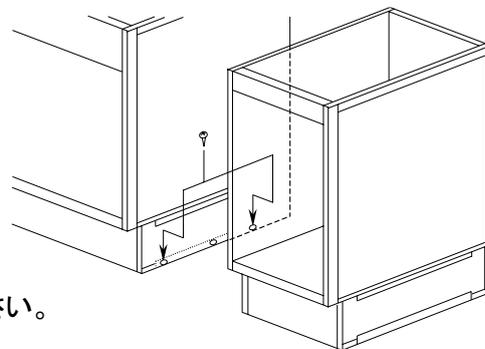


<F-DWP45の場合>

<F-DWW45の場合>

＜その他キャビネットの場合＞

ビルトインレンジに隣接するキャビネット、およびオープン側に設置されるキャビネットの場合は 横台輪の穴より床面にネジで固定してください。



【5. ビルトインレンジの設置】

キャビネットの設置と同時に、所定の位置に器具本体を設置してください。

7. 水栓の取付

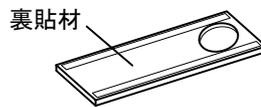
①水栓穴の加工

オプション水栓（アルカリ整水器、浄水器専用水栓）を取付ける場合は、下図にしたがってワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。（●印：穴加工は不要 ○印：現場で穴加工）

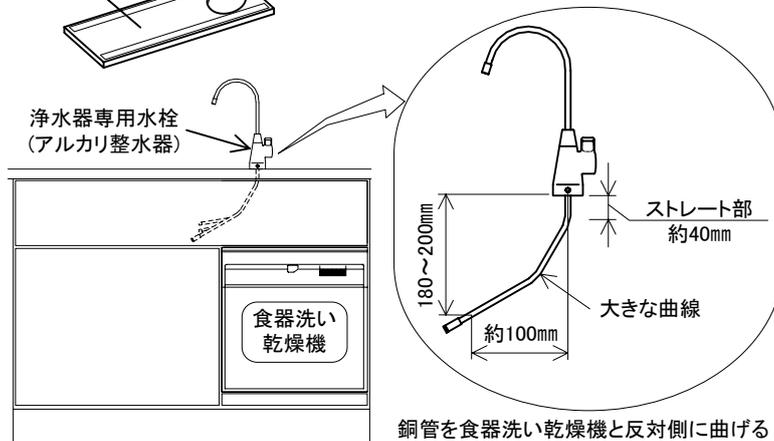
	Zシンク、ZSシンク []寸法はZSシンクの場合	Yシンク、Sシンク	Fシンク
シンク横食洗の場合 標準（食洗無し）の場合	<p>水栓 オプション水栓(穴径φ36~40)</p> <p>水栓とオプション水栓は入替可能です。</p>	<p>オプション水栓(穴径φ36~40) 水栓</p> <p>オプション水栓は左右どちらでも設置可能です。</p>	<p>水栓 オプション水栓(穴径φ36~40)</p> <p>オプション水栓は左右どちらでも設置可能です。</p>
シンク下食洗の場合	<p>水栓 オプション水栓(穴径φ36~40)</p> <p>食器洗い乾燥機</p> <p>図は食洗機が右側の場合です。左側の場合は左右対称になります。</p>	<p>オプション水栓(穴径φ36~40) 水栓</p> <p>食器洗い乾燥機</p> <p>図は食洗機が右側の場合です。左側の場合は左右対称になります。</p>	<p>オプション水栓(穴径φ36~40) 水栓</p> <p>食器洗い乾燥機</p> <p>図は食洗機が右側の場合です。左側の場合は左右対称になります。</p>

②裏貼材の貼付

Z・ZSシンクの場合は、加工した穴に合わせて別売部品の裏貼材をシンクの裏面に貼付けてください。



③水栓およびオプション水栓（アルカリ整水器 浄水器専用水栓）は、それぞれに付属の取付説明書にしたがって取付けてください。

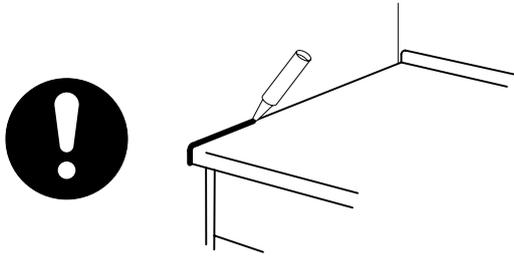


注)Z・ZSシンクでシンク下食洗の場合、オプション水栓と食器洗い乾燥機が干渉して設置しにくい場合があります。その場合は取付前に水栓の銅管を曲げてください。
（※銅管を局部的に曲げないでください。銅管が破損する恐れがあります。）

8. ワークトップの設置

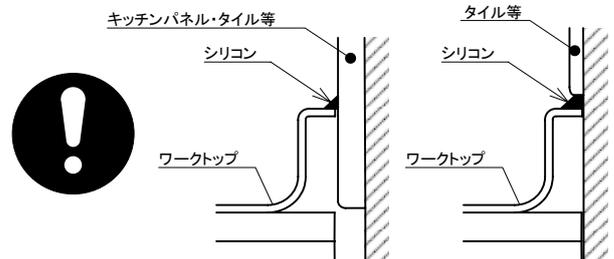
⚠ 作業上の注意事項

人造大理石製ワークトップの両端が壁の場合はシリコンによる目地を3~4mmとってください。



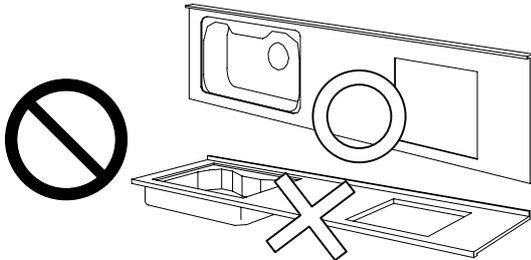
温度変化による伸縮によって、ワークトップにそりが発生するおそれがあります。

壁等に接するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行ってください。



水が進入した場合、腐食や、カビ発生の原因になるおそれがあります。

ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばないでください。



水平にした状態で運んだ場合、ワークトップに損傷を与えるおそれがあります。

設置中、ワークトップおよびシンクの中などに乗らないでください。



製品が変形・破損するおそれがあります。

ワークトップ関連の作業を行っていない場合ダンボール等で養生を行ってください。



壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつくおそれがあります。

シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗浄しないでください。



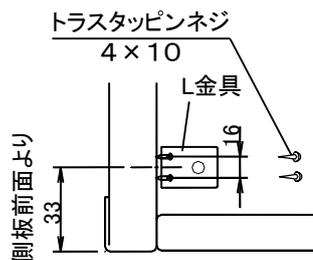
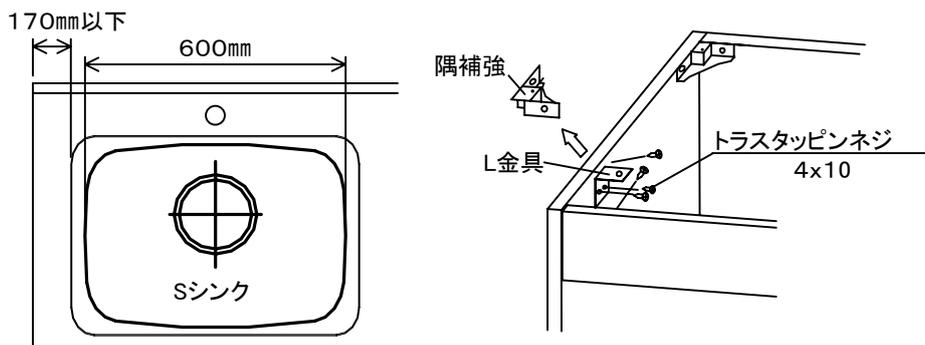
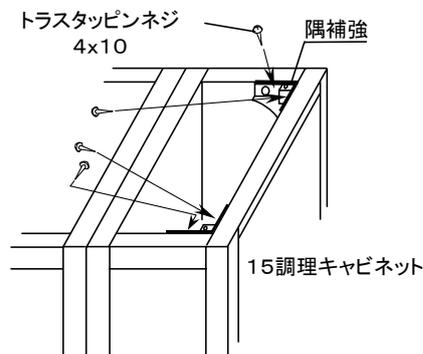
製品が変形・変色するおそれがあります。

【ステンレス製ワークトップの場合】

【1. ワークトップ設置前の準備】

- ①15間口調理キャビネットがセットエンドにくる場合は、隅補強2個をキャビネットに取付けてください。
- ②Sシンクで、シンクが下図のように端に寄っている場合は、セットエンド側の前側の隅補強をはずして、ワークトップに付属のネジでL金具を取付けてください。

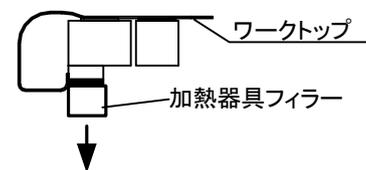
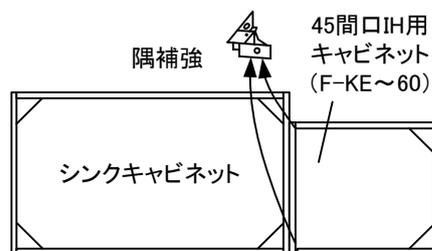
注)防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。



- ③45間口IH用キャビネット(F-KE~60)の場合は、シンクキャビネット側の隅補強をはずしてください。

注)防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

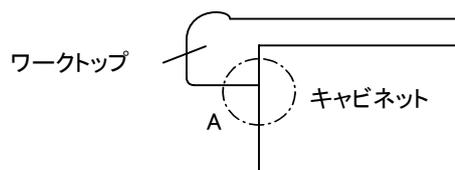
また、ワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーを取りはずしてください。



【2. ワークトップの仮置き】

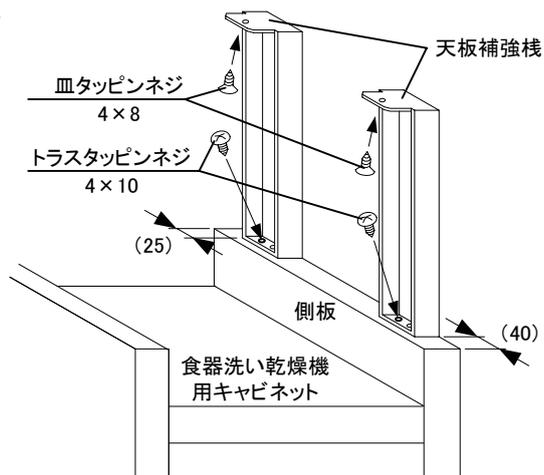
ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

注)シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。



【3. 天板補強棧の取付】(加熱機器と食器洗い乾燥機が並んで設置される場合のみ)

- ①食器洗い乾燥機用キャビネットの側板に、天板補強棧をネジで取付けてください。



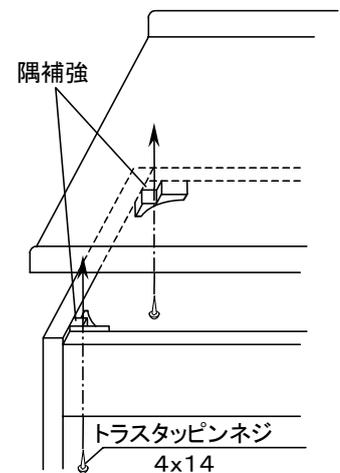
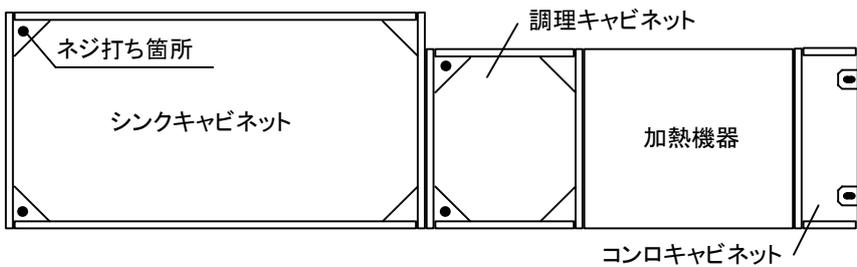
②天板補強棧にネジを打って、天板補強棧を固定してください。

注)天板補強棧が左右にズれるのを防止するため、ネジを打ちます。ネジは天板補強棧に効かせますが、ネジの先がワークトップの裏貼に入り込むようにネジを打ってください。

【4. ワークトップの固定】

①隅補強からの固定

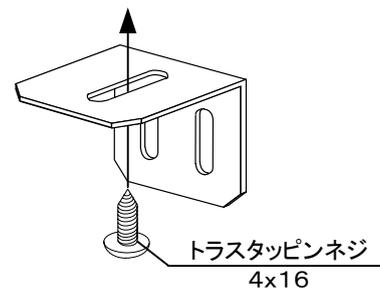
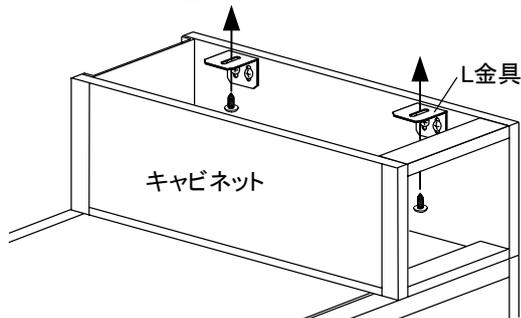
キャビネットの隅補強より、ネジでワークトップを固定してください。
固定箇所はワークトップの両サイドと中央部です。



②L金具からの固定

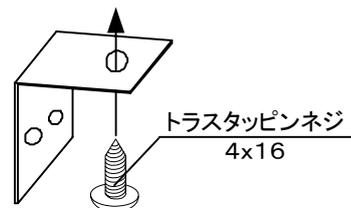
＜コンロキャビネットがセットエンドにくる場合＞

キャビネットのL金具より、ワークトップを固定してください。



＜Sシンクで隅補強をL金具に付替えた場合＞

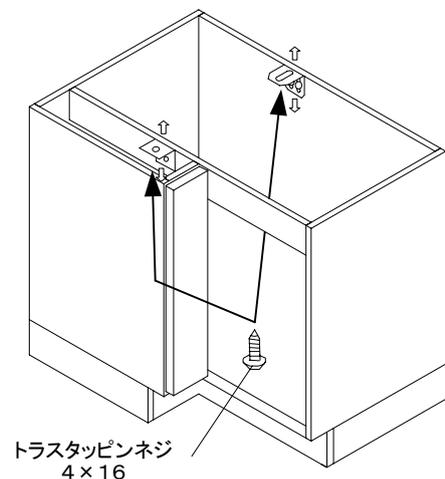
付替えたL金具より、ワークトップを固定してください。



＜コーナーキャビネットの場合＞

L金具からネジでワークトップを固定してください。

注)L金具は上下にスライドできるようになっています。
ワークトップの引きつけが十分でなかったり、ワークトップにひずみが生じたり場合は、L金具を上下させて調整してください。

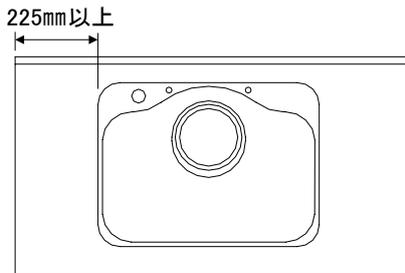
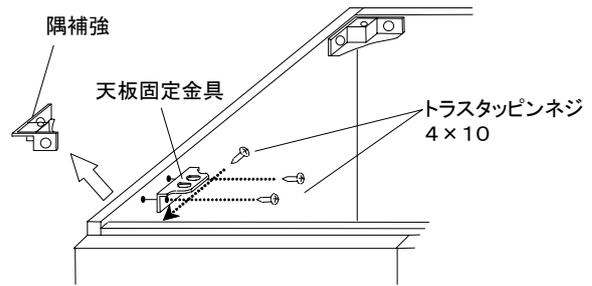


〔人造大理石製ワークトップの場合〕

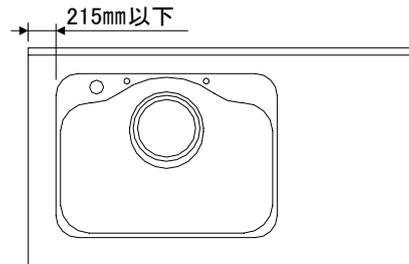
【1. ワークトップ設置前の準備】

- ①シンクがZS・Sシンク(幅600mmのシンク)でセットエンド側に寄っている場合は、セットエンド側の前側の隅補強をはずして、ワークトップに付属のネジで天板固定金具を取付けてください。

注)防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

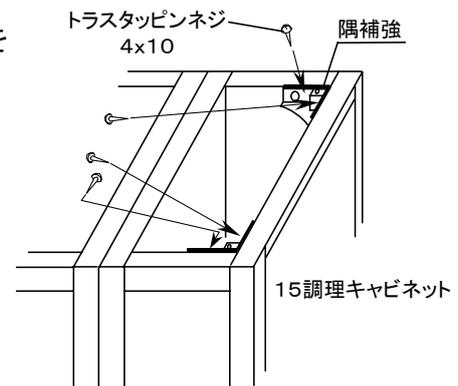


<シンクがセットエンド側に寄っていない場合>



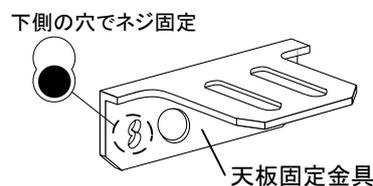
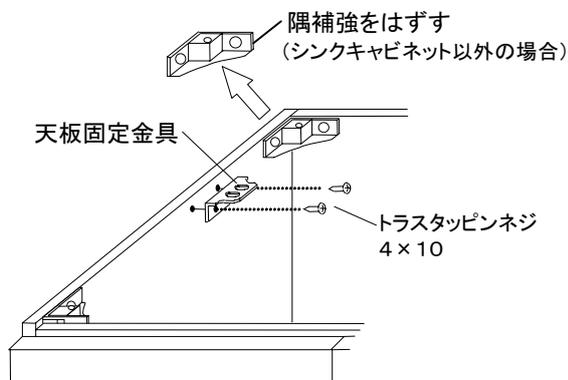
<シンクがセットエンド側に寄っている場合>

- ②15間口調理キャビネットがセットエンドにくる場合は、隅補強2個をキャビネットに取付けてください。



- ③セットエンドのキャビネットに天板固定金具を取付けてください。

注)天板固定金具の固定穴は、ダルマ穴になっています。
天板固定金具がキャビネット上面と合うように、下側の穴で固定してください。



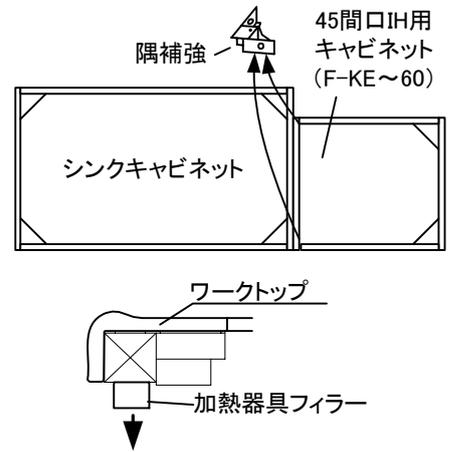
セットエンドがシンクキャビネット以外の場合は、後側の隅補強をはずして、天板固定金具を取付けてください。

注)●隅補強を取付けていたネジと、キャビネットに付属のネジを使用してください。
●防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

- ④45間口IH用キャビネット(F-KE~60)の場合は、シンクキャビネット側の隅補強をはずしてください。

注)防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

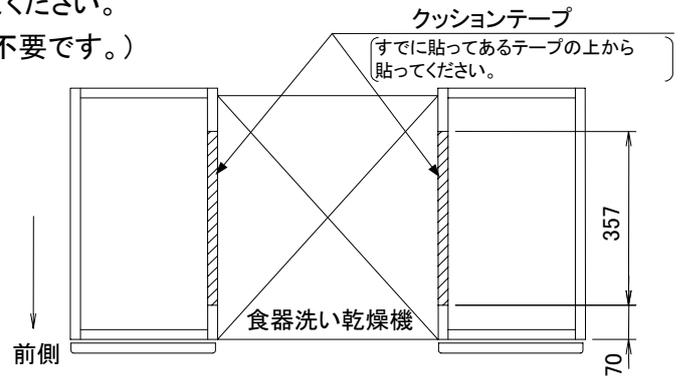
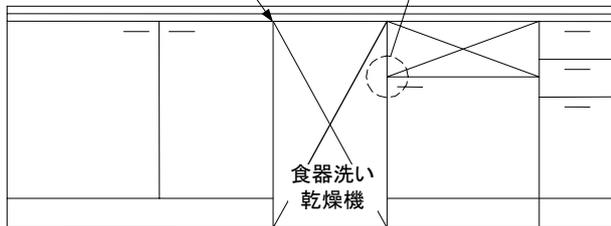
また、ワークトップ前下がり部の加熱器具フィラーを取りはずしてください。



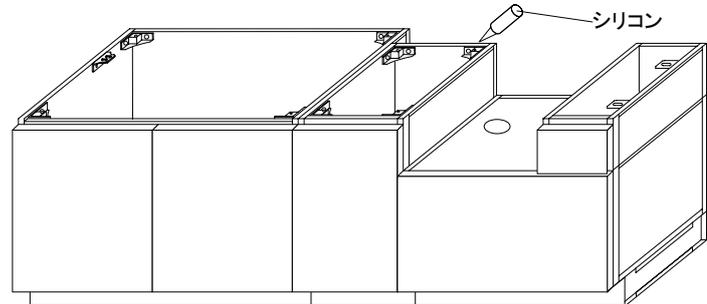
- ⑤食器洗い乾燥機(シンク下設置タイプは除く)に隣接するキャビネット側板の上面所定の位置にクッションテープを貼付けてください。(隣接するキャビネットがコンロキャビネットの場合は不要です。)

クッションテープ必要

クッションテープ不要



- ⑥隅補強の上面にシリコンを塗布してください。

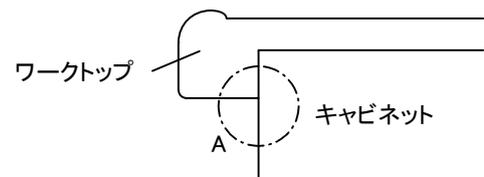


【2. I型配列のワークトップの設置】

- ①ワークトップの仮置き

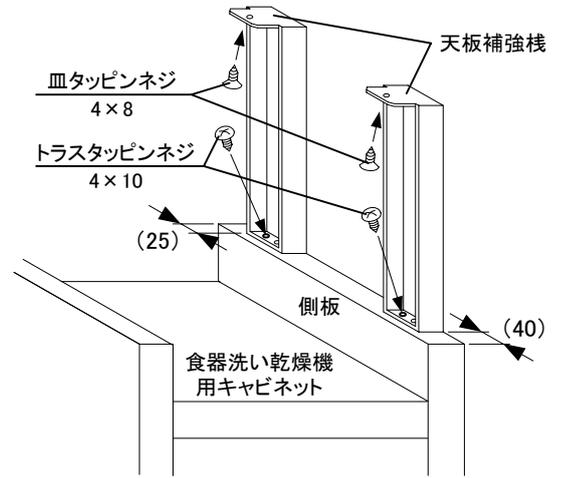
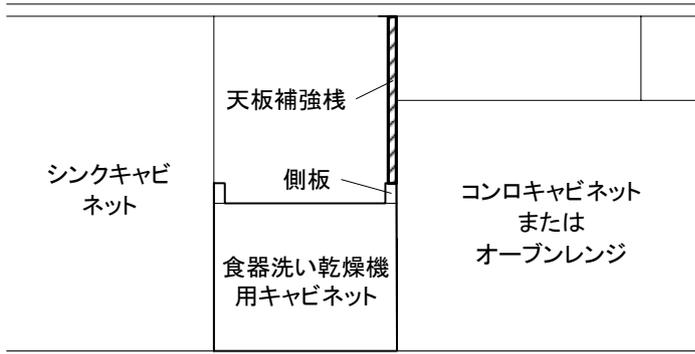
ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

注)シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。



②天板補強棧の取付(加熱機器と食器洗い乾燥機が並んで設置される場合のみ)

(1)食器洗い乾燥機用キャビネットの側板に、天板補強棧をネジで取付けてください。



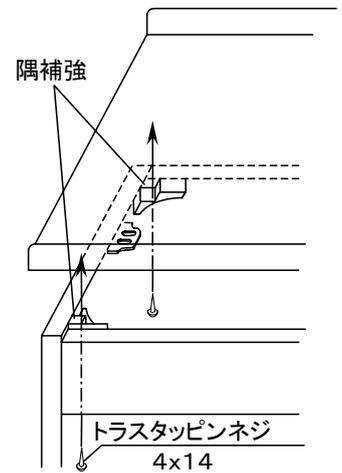
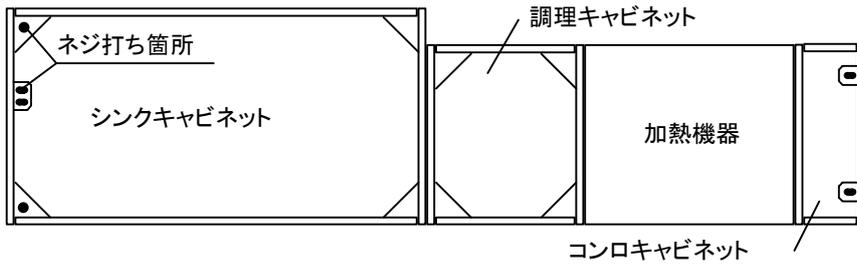
(2)天板補強棧にネジを打って、天板補強棧を固定してください。

注)天板補強棧が左右にズれるのを防止するため、ネジを打ちます。ネジは天板補強棧に効かせますが、ネジの先がワークトップの裏貼に入り込むようにネジを打ってください。

③ワークトップの固定

(1)隅補強からの固定

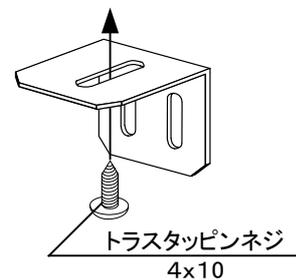
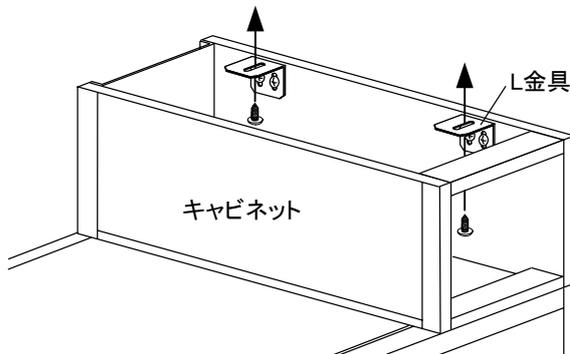
キャビネットの隅補強より、ネジでワークトップを固定してください。
固定箇所はワークトップの両サイドです。(中央部は不要)



(2)L金具からの固定

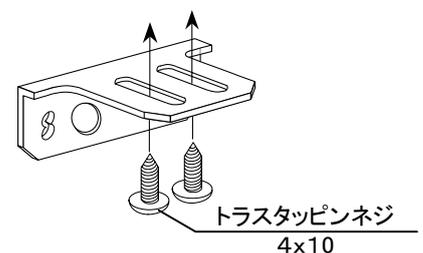
＜コンロキャビネットがセットエンドになる場合＞

キャビネットのL金具より、ワークトップを固定してください。



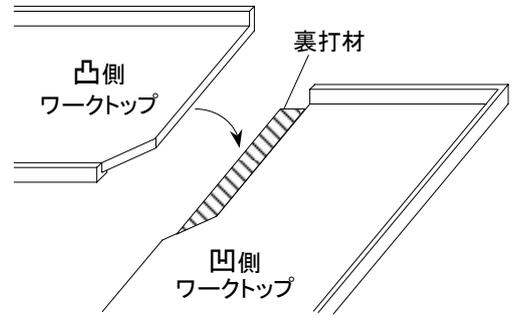
＜天板固定金具を取付けた場合＞

キャビネットに取付けた天板固定金具より、ワークトップを固定してください。



【3. L型配列のワークトップの設置】

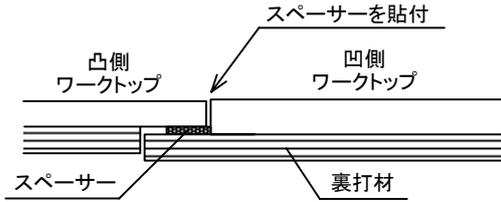
①凹側ワークトップ、凸側ワークトップの順でキャビネット上にワークトップを設置してください。



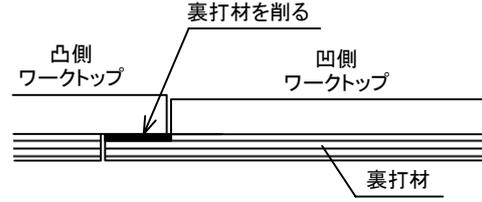
②両方のワークトップを所定の位置に置いて、接合部が密着することを確認してください。

ワークトップの段差が大きい場合は、段差を小さく調整してから接着作業を行ってください。

- ・凸側のワークトップが低い場合：同梱のスペーサーを貼付
- ・凸側のワークトップが高い場合：裏打材を削る



<凸側のワークトップが低い場合>

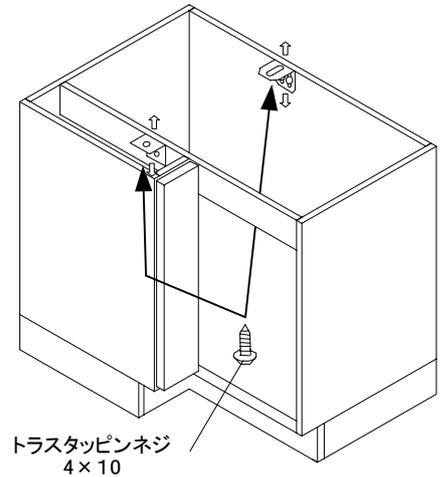


<凸側のワークトップが高い場合>

③凹側ワークトップの端部を固定してください。

④コーナーキャビネットのL金具からネジで凹側ワークトップを固定してください。

注) L金具は上下にスライドできるようになっています。ワークトップの引きつけが十分でなかったり、ワークトップにひずみが生じたり場合は、L金具を上下させて調整してください。



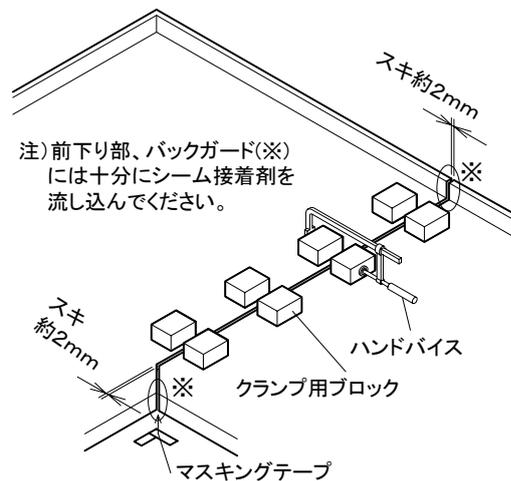
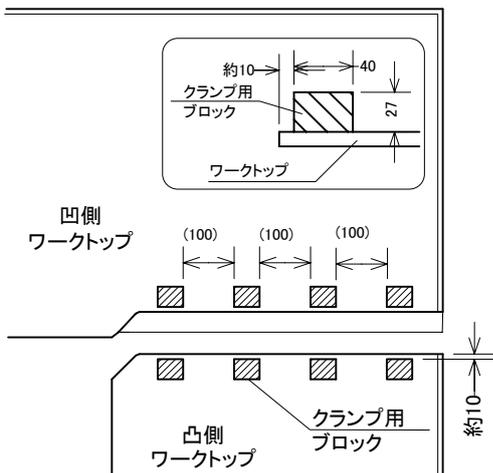
⑤ワークトップの接合面およびその周辺(巾約5cm)をきれいな白い布を使って、工業用アルコールで十分ふいてください。

⑥付属のクランプ用ブロック(木質材)を所定の位置に貼付けてください。

注) 接着剤は木工用瞬間接着剤(アイカアイボン、アロンアルファー)または、ホットメルト接着剤を使用してください。

⑦接合部のスキ間が約2mmになるように凸側ワークトップを設置してください。

前下り部の下面はマスキングテープでシールしてください。



⑧接着作業

- 接着作業はワークトップに付属のシーム接着剤の取扱説明書にしたがって、作業してください。
- 接着剤注入後ハンドバイスでクランプ用ブロックを締めつけてください。

注) ●硬化するまでバイスははずさないでください。

●接着部分に爪痕がつかない程度に硬化すれば、次工程に進んでください。

但し、ワークトップを加熱した場合は、常温まで冷やしてから作業を行ってください。

●低温時に作業する際は、接着剤を流しこむ前に接合部付近を30℃程度まで暖めておくと早く硬化します。

⑨凸側ワークトップの端部をネジで固定してください。

⑩接着剤が硬化した後、ワークトップに付属のシーム接着剤の取扱説明書にしたがって、仕上げ作業を行ってください。

9. 加熱機器の設置

加熱機器に付属の設置説明書にしたがって設置してください。

以下の場合、配管・配線用の穴加工を行ってください。

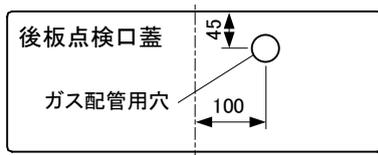
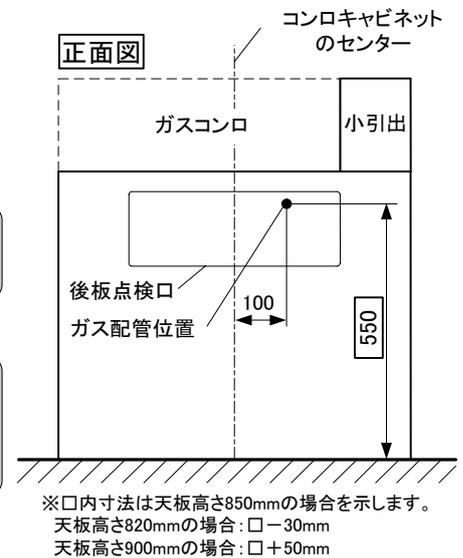
【1. ガス加熱機器の場合】

①右図を参照して、ガス配管位置を確認してください。

注) ガス配管位置が低過ぎると、引出や収納物に干渉するおそれがあります。低すぎる場合は、配管をやりなおしてください。

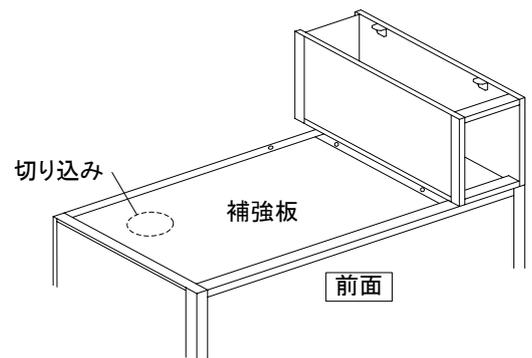
②後板点検口蓋にガス配管が通る大きさの穴を加工してください。

注) 下図の穴位置は、ガス配管が右図の位置にある場合を示しています。ガス配管位置がズれている場合は配管位置に合わせて穴を加工してください。



③後板点検口蓋の穴にガス配管を通し、後板点検口蓋を蓋の突起でキャビネットに取付けてください。

④切り込みを利用して、補強板に配管穴を加工してください。

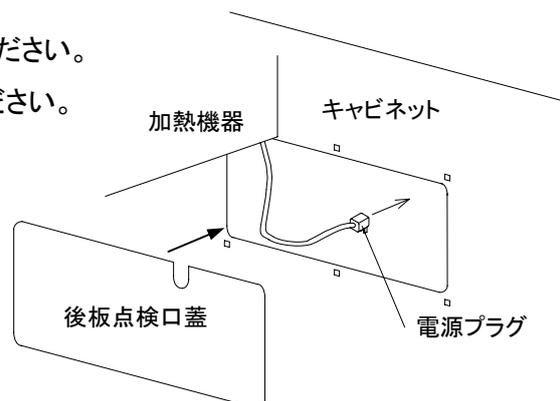
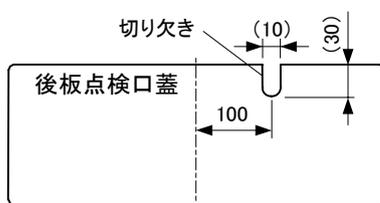


【2. 45間口の電気加熱機器の場合】

①後板点検口蓋に電源コード用の切り欠きを加工してください。

②後板点検口から電源プラグをコンセントに接続してください。

③後板点検口蓋をキャビネットに取付けてください。



10. スペーサーキャビネットの設置

スペーサーキャビネットに付属の設置説明書にしたがって設置してください。

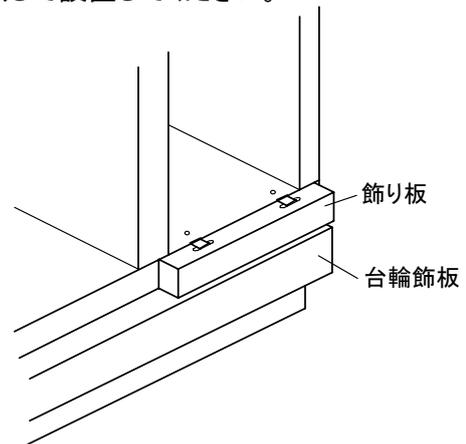
11. 食器洗い乾燥機の設置

食器洗い乾燥機をシンク下に設置する場合に、「食器洗い乾燥機の設置説明書」の記載内容と異なる部分のみを記載しています。

記載内容以外については「食器洗い乾燥機の設置説明書」を参照して設置してください。

【1. 設置前の作業】

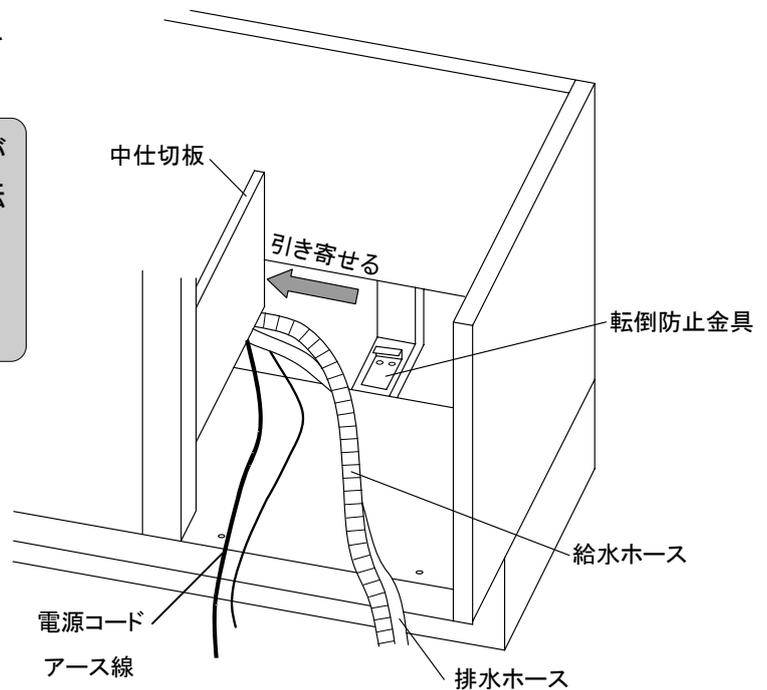
注) 飾り板の下に台輪飾板が付いている場合、飾り板ははずせません。
食器洗い乾燥機を組み込む際は、飾り板を損傷しないように注意してください。



【2. 本体のビルトイン】

給水ホース・排水ホース・電源コード・アース線を全て中仕切板の下を通して引き寄せてください。

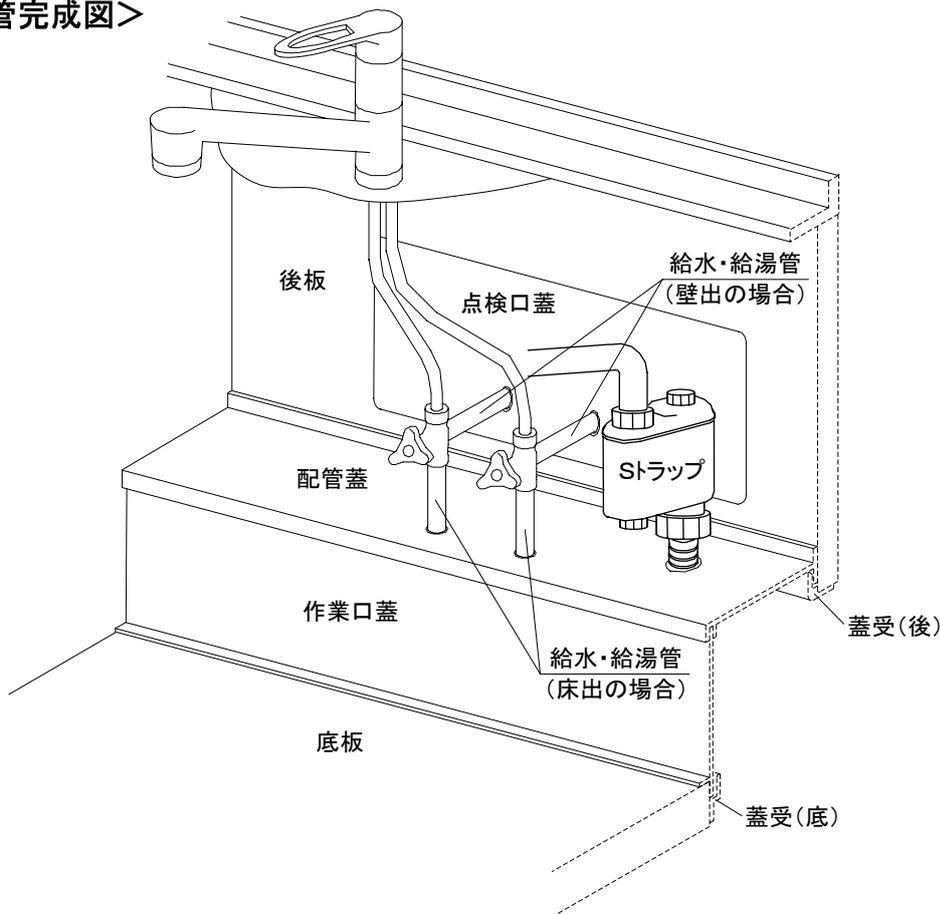
注) 食器洗い乾燥機を押込む時、排水ホースが折れる、または電源コード・アース線等が転倒防止金具にかみ込むのを防止するため、これらを少しずつ引き寄せながら組込み作業を行ってください。



12. 配管蓋・点検口蓋の穴加工

配管蓋・点検口蓋には、給水・給湯管、排水管引き込み用の穴加工が必要になります。

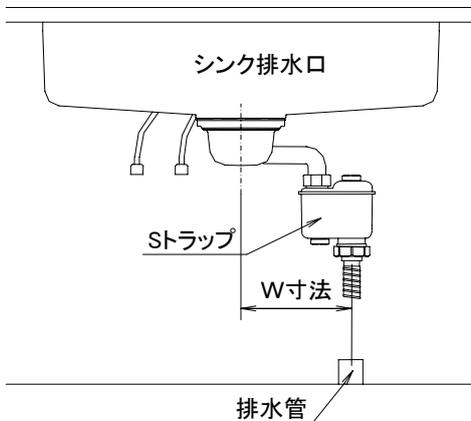
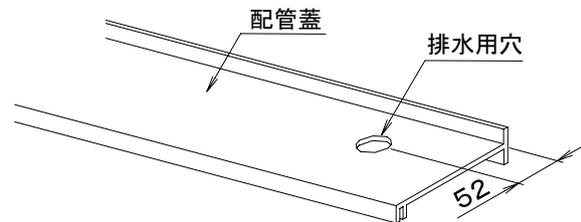
<配管完成図>



【1. 排水管用の穴加工】

配管蓋に排水用の穴を加工してください。

- ・穴径 排水パイプで接続する場合：φ38程度
直管で接続する場合：φ50～φ60
- ・奥行位置：後側より52mm
- ・間口位置・シンク排水口からWmm



シンク	ノーマルタイプ (F-RV・RN・RT～)		シンク下食洗タイプ (F-RS・RR・RW・RL～)	
	W寸法	向き	W寸法	向き
Zシンク	0	—	285	食洗と反対側
ZSシンク	130	加熱機器側		
Yシンク	170	加熱機器側		
Sシンク	180	※加熱機器と反対側		
Fシンク	250	加熱機器側		

※Sシンクはシンク横食洗の場合のみ加熱機器側になります。

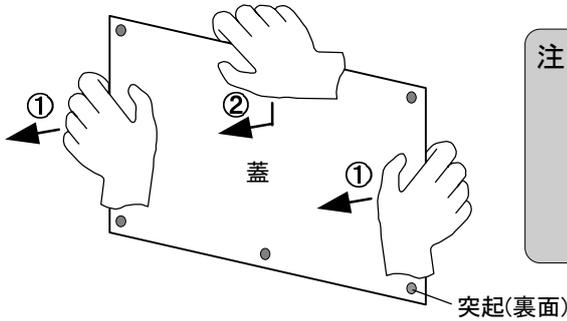
- 注) 排水管の位置が上表と大きくズれている場合は、排水管を正しい位置に移動してください。
移動できない場合は以下の項目に注意して、排水管の位置に合わせて穴を加工してください。
- ・引出や収納物と干渉しないように、ストラップを配置できるかどうか。
 - ・オプション水栓を設置する場合、カートリッジ等の設置スペースが確保できるかどうか。

【2. 給水・給湯管用の穴加工】

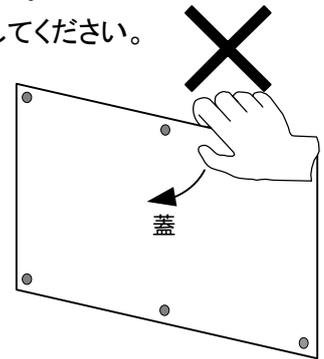
配管蓋または後板の点検口蓋に、給水・給湯管用の穴を加工してください。

点検口蓋は蓋の突起でキャビネットに取付けられていますので、以下の要領ではずしてください。

- ①両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて4隅の突起をはずしてください。
- ②上辺の中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いてはずしてください。

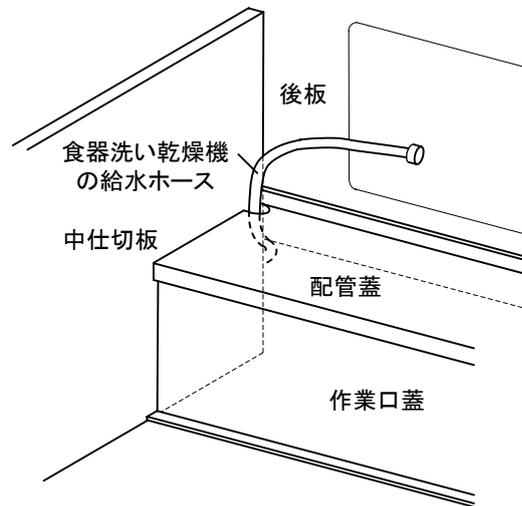
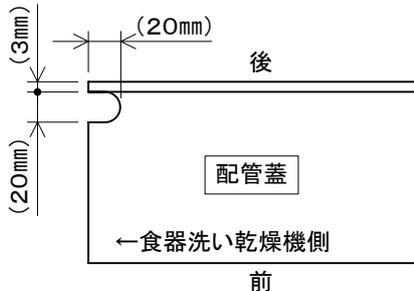


注) 右図のように指示と異なる部分を持って、無理にはずさないでください。突起が折れるおそれがあります。



【3. 食器洗い乾燥機の給水ホース用の配管蓋の加工】

シンク下食洗タイプの場合は、配管蓋に食器洗い乾燥機の給水ホース用の切り欠きを加工してください。給水ホースは中仕切板の後を通して庫内に引き込み、配管蓋を取付ける際に切り欠きを通してください。



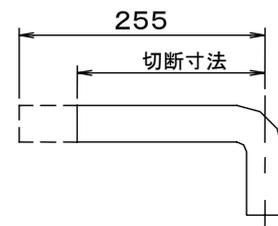
13. 排水部品の取付

【1. 排水エルボの切断】

排水エルボを所定の長さに切断してください。

切断寸法はキャビネットやシンクの種類によって異なりますので、注意してください。

キャビネット	切断寸法				
	Zシンク	ZSシンク	Yシンク	Sシンク	Fシンク
ノーマルタイプ (F-RV・RN・RT～)	80	100	150	160	200
シンク下食洗タイプ (F-RS・RR・RW・RL～)	170	200	※220 (210)		130



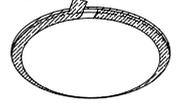
※ワークトップが人造大理石製の場合を示す。()内はステンレス製の場合を示す。

注) 排水管の位置が標準配管と異なり、その排水管の位置に合わせて排水蓋に穴を加工した場合は、排水エルボの切断は現場合わせて行ってください。

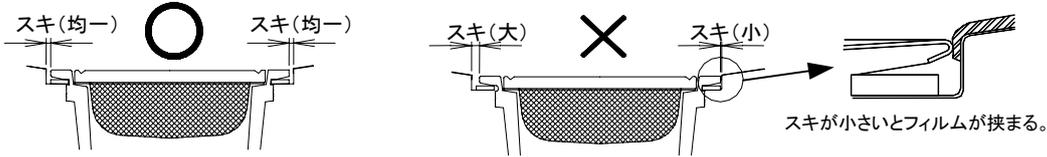
【2. 排水器具・排水エルボ・ストラップの取付・排水パイプの取付】

フィルムが貼ってある場合はフィルムをはがす。

- ①トラップ取付部のフィルムをはがしてください。(Fシンクの場合のみ)
- ②取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。



注) ●トラップ取付部にフィルムの切れ端しや異物が残っていると水漏れの恐れがあります。
●排水器具取付部のスキがなるべく均一になるように取付けてください。
下図の×のようにスキが均一でないと、スキが小さい箇所フィルムが挟まり、取りにくくなります。



- ③排水器具にパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

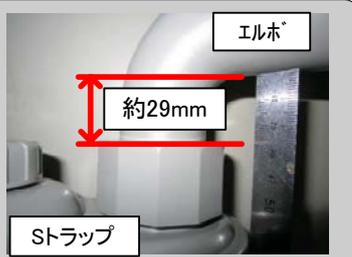
注) 排水器具の溝部にパッキンがきっちり納まっているか確認してください。(A部詳細)

- ④排水器具をロックナットで仮固定してください。
- ⑤排水エルボに袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

注) 差し込む順序や台形パッキンの向きが間違っていないか確認してください。(B・C部詳細)

- ⑥排水エルボとストラップを接続してください。

注) ストラップへの差し込み量が浅くならないように注意してください



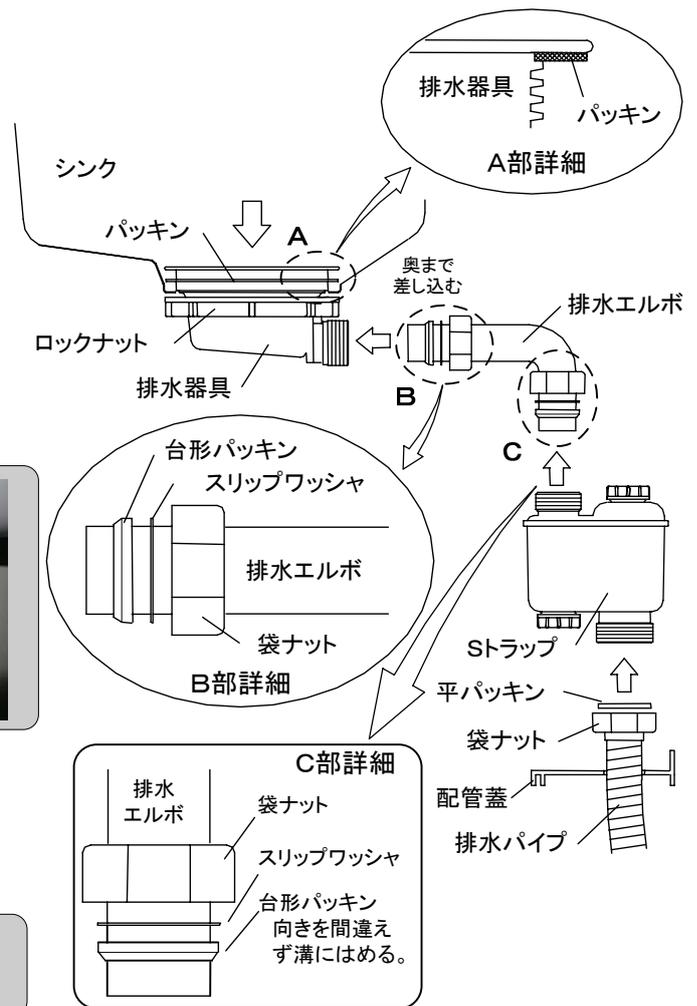
- ⑦排水パイプを配管蓋の穴に通してください。
- ⑧排水器具に排水エルボを接続し、ストラップが配管蓋の穴の位置にくるように排水器具・ストラップの向きを調節してください。

注) 排水エルボは排水器具の奥まで十分に差し込み袋ナットをしっかり締め付けてください。

- ⑨ロックナットを締め付けてください。
- ⑩ストラップに排水パイプを取付けてください。

注) 排水パイプの平パッキンをそのまま使用してください。

- ⑪接続完了後、排水器具のロックナットと接続部の袋ナットを再度締め付けてください。

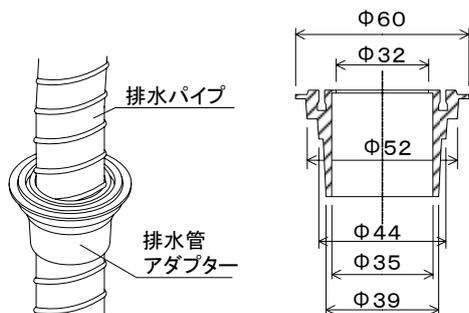


14. 排水管の接続

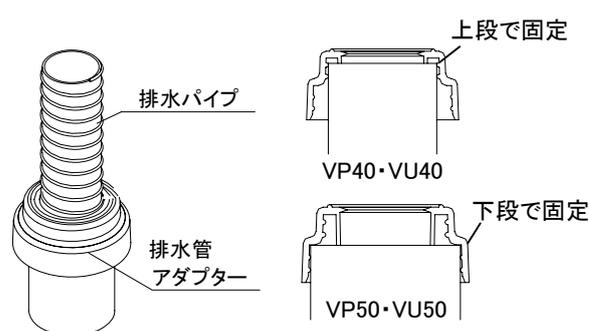
排水管の接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。

- ①排水管アダプターを排水パイプに挿入してください。
- ②排水管アダプターを排水管に差込み、隙間のないように完全にシリコン等でシールしてください。

注) 排水管アダプターは、2種類あります。形状を確認の上、下記を参照して作業してください。



VP-40(内径φ40)、VU-40(内径φ44)、
VP-50(内径φ51)の排水管に接続可能。



VP-40、VU-40、VP-50、VU-50の排水管
に接続可能。

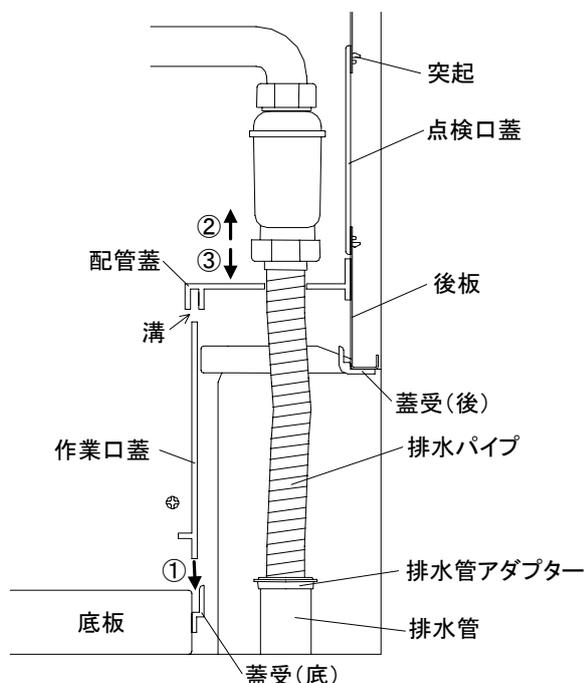
15. 給水・給湯管と水栓の接続

- 接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
- 接続工事は水栓の取付説明書にしたがって行ってください。

注) 点検口蓋が蓋の突起でキャビネットに取付けられている場合は、21ページを参照してはずしてください。

- 全ての接続工事が終わったら、以下の要領で点検口蓋・作業口蓋を取付けてください。
 - ・点検口蓋: 蓋の突起で後板に取付ける。
 - ・作業口蓋: ①作業口蓋を蓋受(底)に差し込む。
②配管蓋を少し持ち上げる。
③作業口蓋を配管蓋の溝に差し込みながら、配管蓋の後部を蓋受(後)に差し込む。

注) 接続作業が別途工事になる場合は、点検口蓋・作業口蓋を作業者がわかる位置に保管しておいてください。(取付が可能な場合は、極力取付けた状態で作業を終わるようにしてください。)



16. エンドパネルの取付(エンドパネルを取付ける場合のみ)

シンクキャビネットに付属のエンドパネル設置説明書にしたがって行ってください。

17. その他部品の取付

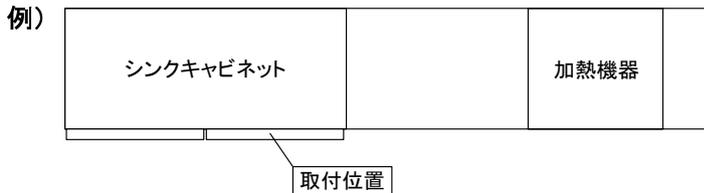
【1. 包丁差】

注) 包丁差を取付けるときはネジのゆるみや浮きのないよう、正しく取付けてください。
取付方法を誤ると、使用中に包丁差がはずれてけがをする恐れがあります。

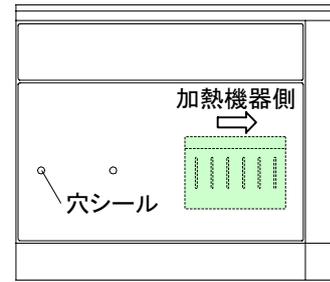
<スライドタイプ・足元スライドタイプの場合>

①取付位置の確認

取付位置はシンクキャビネットの中で、加熱機器に一番近い45間口以上の引出しです。



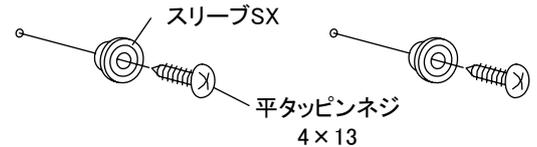
注) 60間口以上の引出しには、包丁差取付用の穴が3~4箇所あいています。加熱機器側の2箇所を使用して取付けてください。



②スリーブSXの取付

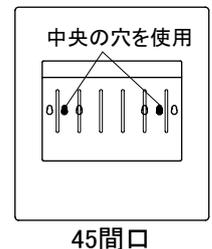
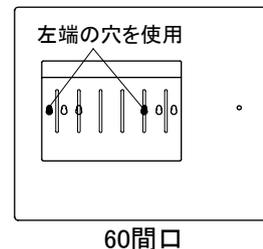
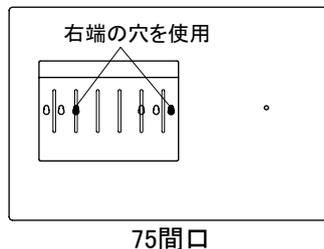
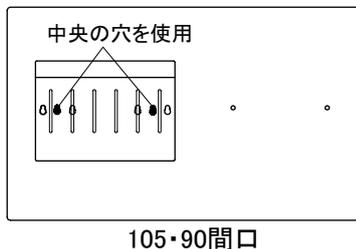
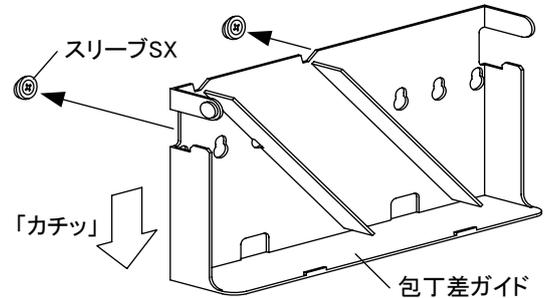
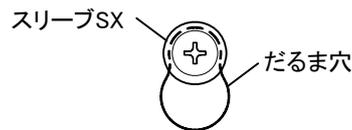
スリーブSXを扉裏板にネジで取付けてください。

注) 電気ドライバーは使わないで手締めしてください。
スリーブSXが破損する恐れがあります。



③包丁差ガイドの取付

包丁差ガイドのダルマ穴にスリーブSXを差し込んで、「カチッ」と音が鳴るまで降ろして取付けてください。
取付けに使用する穴は、下図を参照してください。

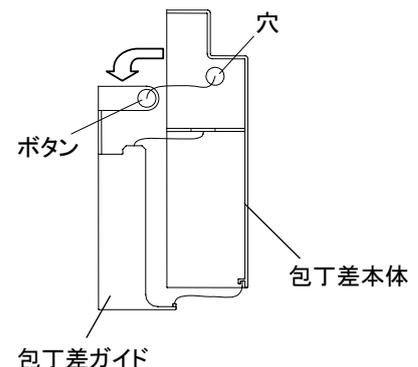


④包丁差本体の取付

包丁差ガイドのボタンを押しながら包丁差本体を差し込み、本体の穴とボタンが合う位置に取付けてください。

⑤穴キャップの取付

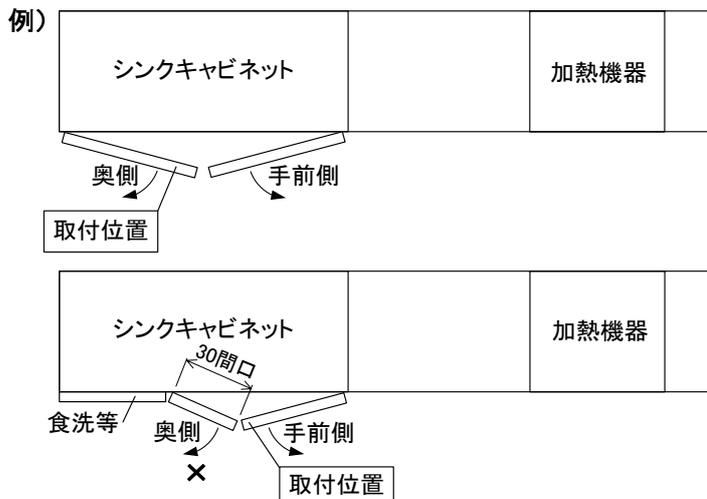
包丁差の取付に使用しない扉裏板の取付穴には、穴シール(直径12mm)を貼付けてください。



<扉タイプの場合>

①取付位置の確認

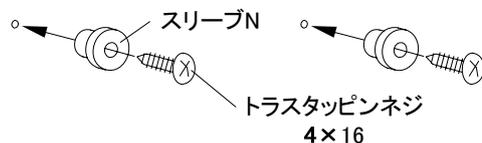
取付位置はシンクキャビネットの中で、加熱機器から見て奥側に開く45間口以上の扉です。
(加熱機器から見て奥側に開く扉が無い場合は手前側に開く扉に取付けてください。)



②スリーブNの取付

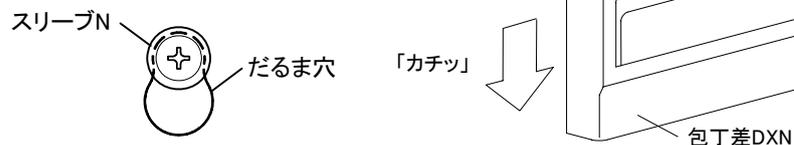
スリーブNを扉裏板にネジで取付けてください。

注) 電気ドライバーは使わないで手締めしてください。
スリーブNが破損する恐れがあります。



③包丁差の取付

包丁差DXNのだるま穴にスリーブNを差し込んで、「カチッ」と音が鳴るまで降ろして取付けてください。



④穴キャップの取付

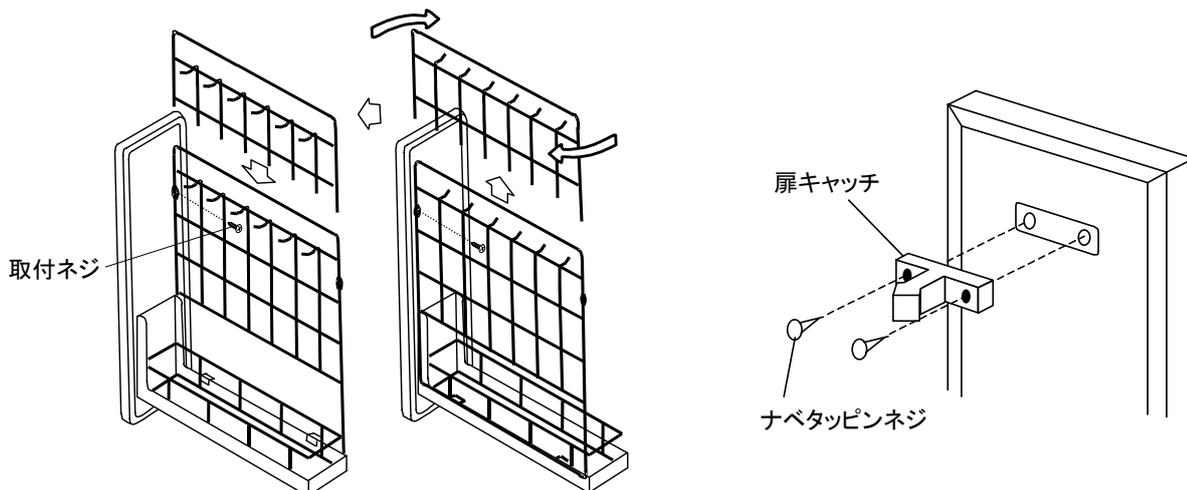
包丁差の取付に使用しない扉裏板の取付穴には、穴シール(直径12mm)を貼付けてください。

【2. 15間口調理キャビネット】

<ローラーレールタイプ(F-TF15)の場合>

①出荷時はLタイプ(右側取り出し)にセットされています。Rタイプ(左側取り出し)にセット する場合は、取付ネジをはずしてハンガーの前後を入れ替えて取付け直してください。

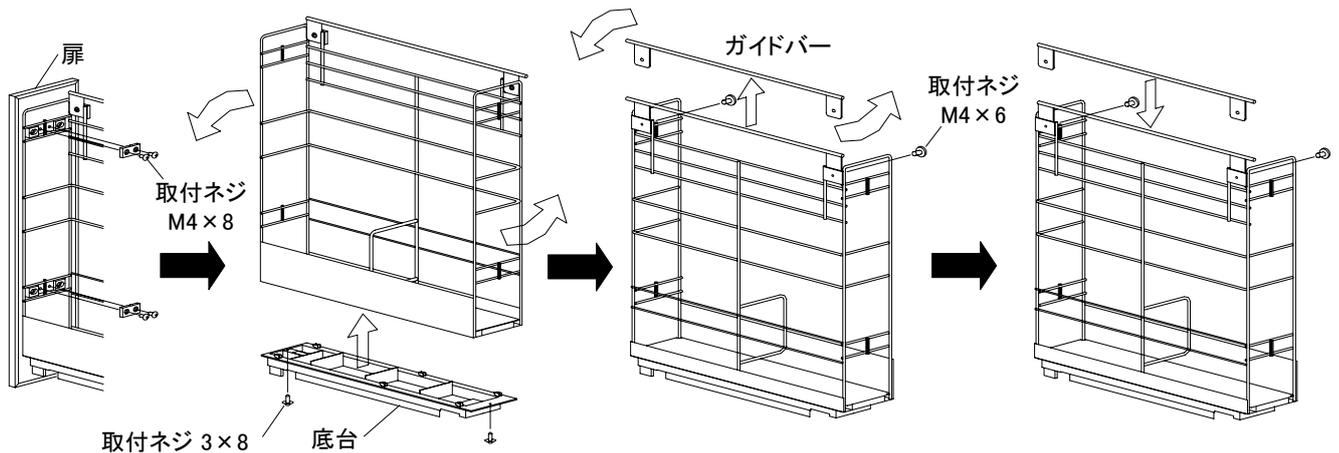
②扉キャッチを扉裏板にネジで取付けてください。



<ソフトクローズタイプ(F-TFN15)の場合>

出荷時はLタイプ(右側取り出し)にセットされています。Rタイプ(左側取り出し)にセットする場合は以下の手順で付替えてください。

- ①キャビネットに同梱の取扱説明書を参照して、ラックをキャビネットから取りはずしてください。
- ②扉裏板に固定しているネジをはずして、ラックから扉を取りはずしてください。
- ③底台を固定しているネジをはずして、ラック本体の前後を入れ替えて再度ネジで底台を固定してください。
- ④ガイドバーを固定しているネジをはずして、前後を入れ替えて再度ネジで固定してください。
- ⑤扉裏板にラックをネジで固定し、元通りキャビネットに取付けてください。

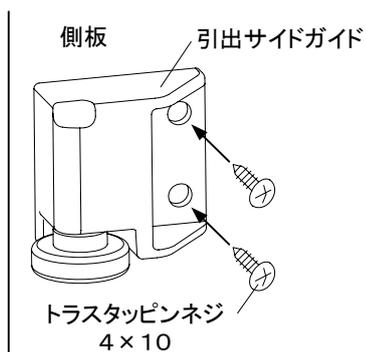


【3.引出サイドガイドの取付】

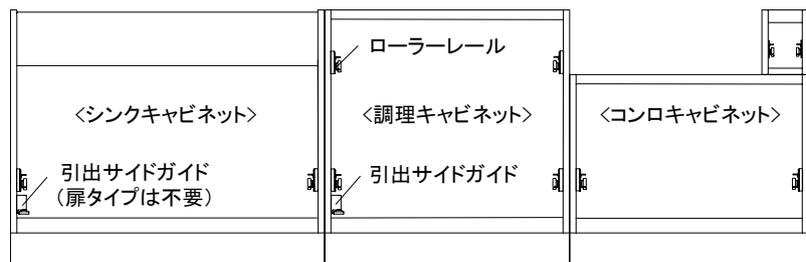
ローラーレールタイプの場合は、以下のシンク・調理キャビネットに引出の横ブレ防止用の引出サイドガイドを左側の側板に取付けてください。

- ・シンクキャビネット: シンク下食洗タイプを除く全間口
- ・調理キャビネット : 75間口以上のキャビネット

<足元スライドタイプの場合>



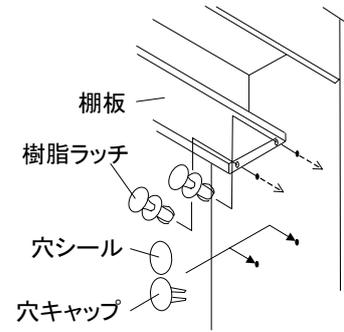
<扉・スライドタイプの場合>



【4. 棚板】

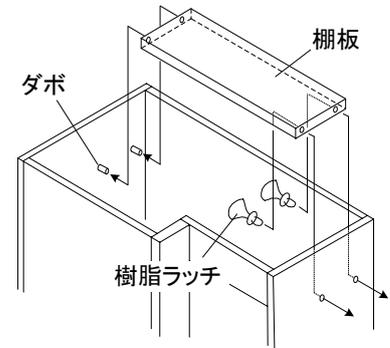
＜60間口の扉タイプ キャビネットの場合＞

- ①棚板の側面に付いているスポンジテープをはがしてください。
- ②棚板と側板の穴を合わせて、樹脂ラッチで固定してください。
- ③使用しない取付穴に穴シールまたは穴キャップを取付けてください。



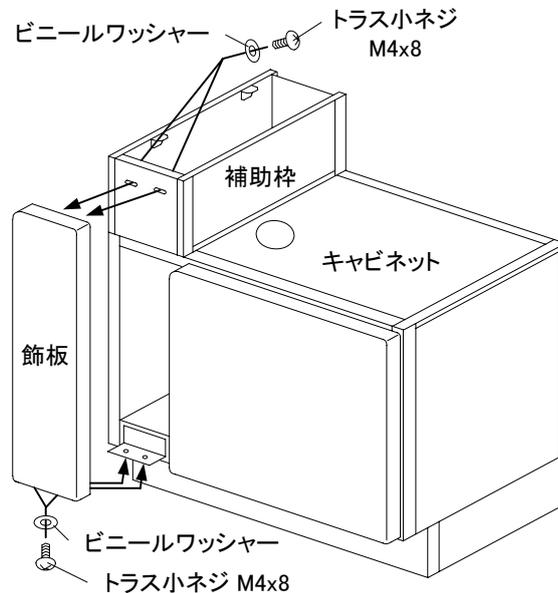
＜105間口の棚板付コーナーキャビネットの場合＞

- ①棚板の側面に付いているスポンジテープをはがしてください。
- ②奥側はダボがセットされています。棚板の穴をダボに差し込み、手前側の側板と棚板の穴を合わせて樹脂ラッチで固定してください。



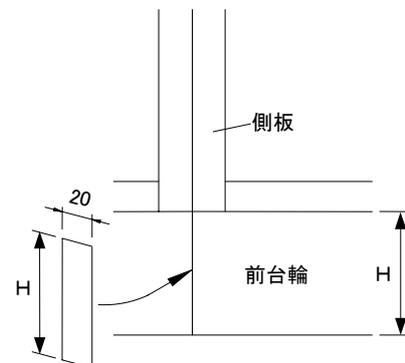
【5. 飾板の取付】

扉タイプの75間口コンロキャビネットの場合は、飾板を取付けてください。



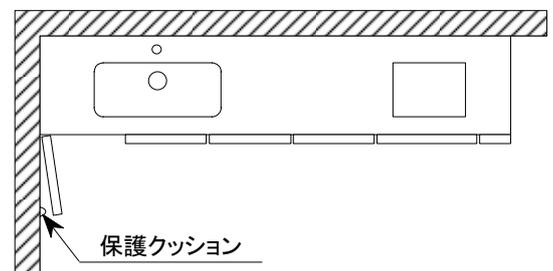
【6. 台輪テープ】

扉・スライドタイプ同士のキャビネット間には、台輪テープをH寸法にカットして、継ぎ目をふさぐように貼付けてください。



【7. 保護クッション】

扉および引手が隣接する壁等に当たる場合は、保護クッションを当たる部分に貼付けてください。



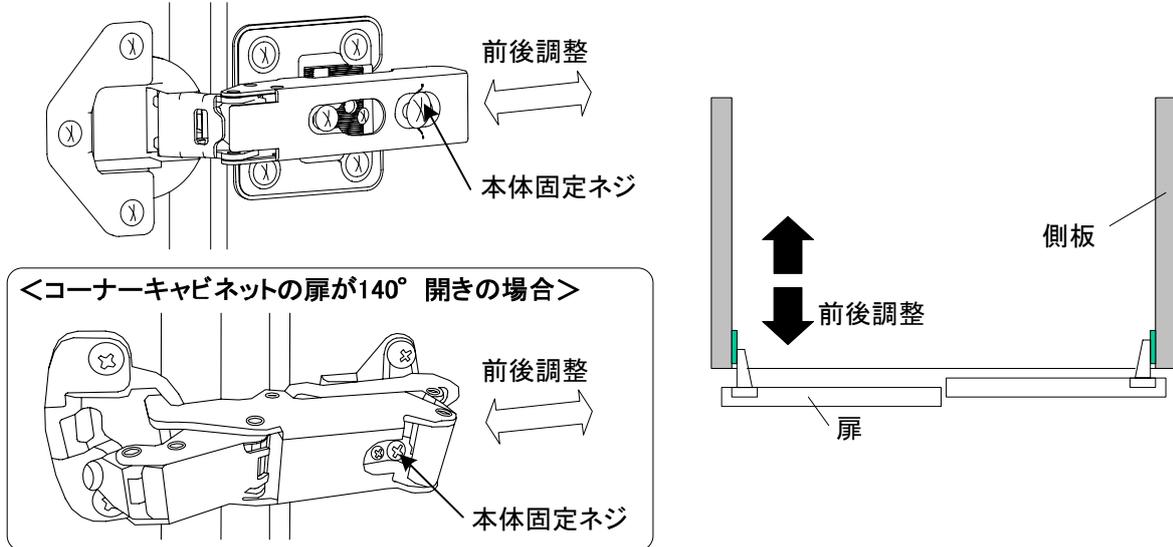
18. 扉の調整

扉の傾き、段違いが発生した場合は、次の手順で調整してください。

【1. 開き扉】

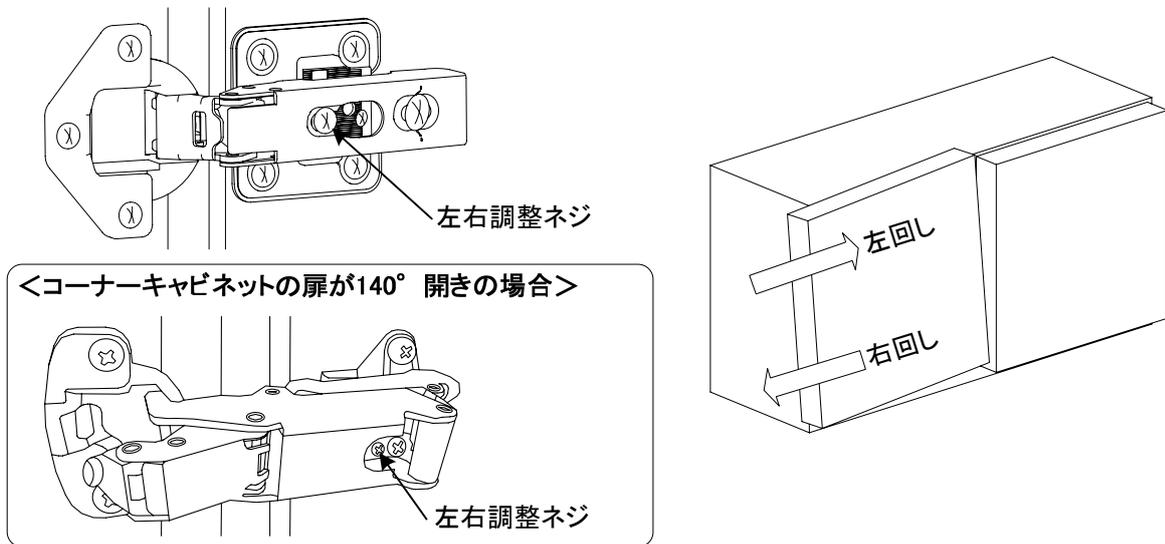
○扉の前後調整

本体固定ネジを緩め、丁番を移動させて前後調整してください。
調整後は必ず本体固定ネジを締め直してください。



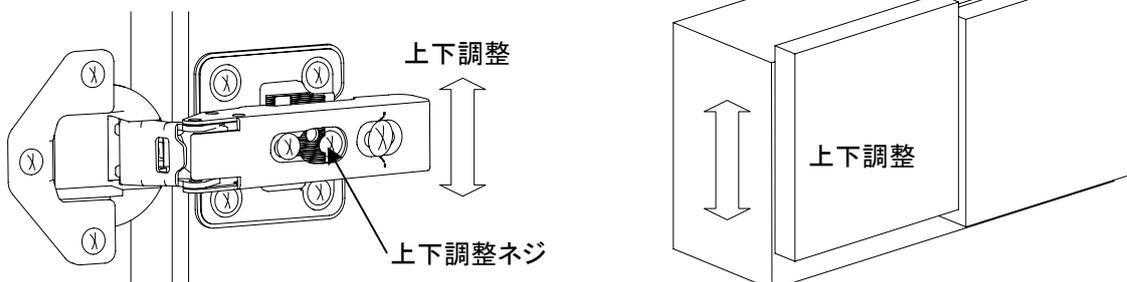
○扉の左右調整

左右調整ネジを回して左右調整してください。
調整後、本体固定ネジが緩む場合があるので、必ず本体固定ネジを締め直してください。



○扉の上下調整

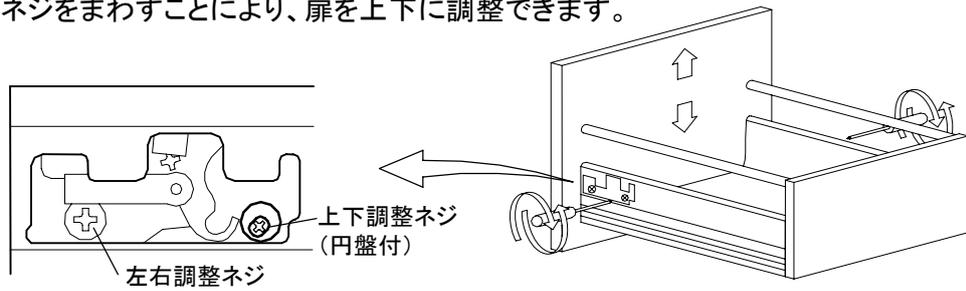
上下調整ネジを緩め、丁番を移動させて上下調整してください。
調整後は必ず上下調整ネジを締め直してください。



【2. 引出(ソフトクローズタイプの場合)】

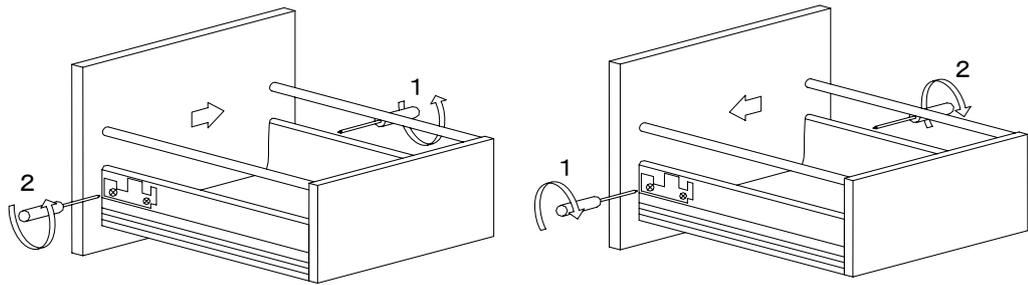
○上下調整

図のように上下調整ネジをまわすことにより、扉を上下に調整できます。



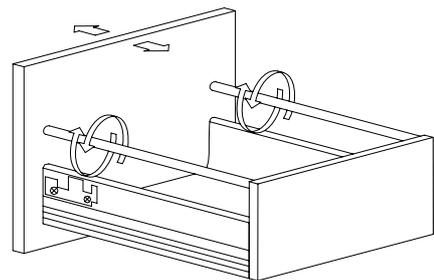
○左右調整

図の手順にしたがって左右調整ネジをまわすことにより、扉を左右に調整できます。



○傾き調整

図のように両サイドのバーをまわすことにより、扉の傾きを調整できます。

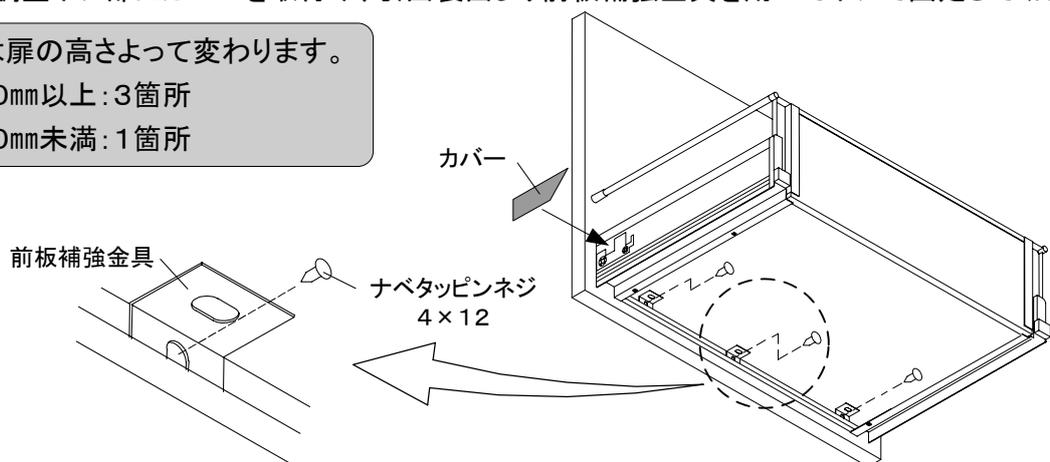


○仕上げ

各調整終了後、調整ネジ部にカバーを取付け、引出裏面より前板補強金具を用いてネジで固定してください。

注) 固定箇所は扉の高さによって変わります。

- ・扉高さ450mm以上: 3箇所
- ・扉高さ450mm未満: 1箇所



【3. 引出(ローラーレールタイプの場合)】

○上下調整

固定ネジを緩め、上下調整ネジを回すことにより扉を上下に調整できます。調整後、必ず固定ネジを締め直してください。

○左右調整

左右調整ネジを緩め、扉を移動させて左右調整してください。調整後は必ず左右調整ネジを締め直してください。

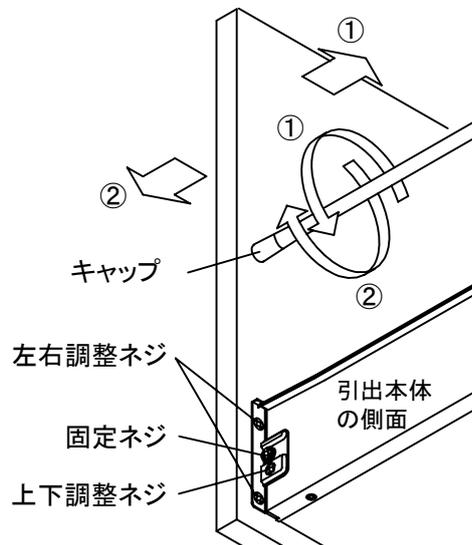
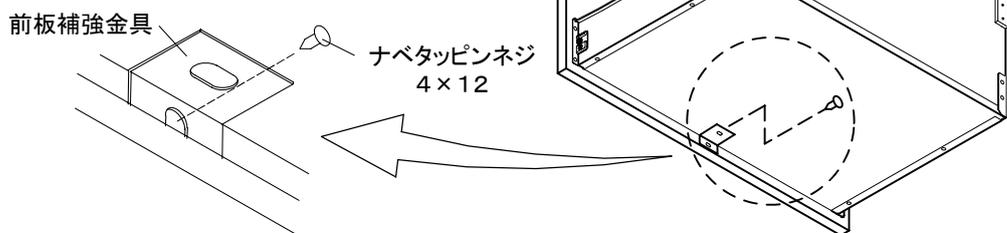
注)引出本体の側面が「ハの字」にならないようにしてください。
引出の開閉が重くなるおそれがあります。

○傾き調整

左右のバーに付いているキャップを、少し引き抜いた状態でまわすことにより、扉の傾きを調整できます。

○仕上げ

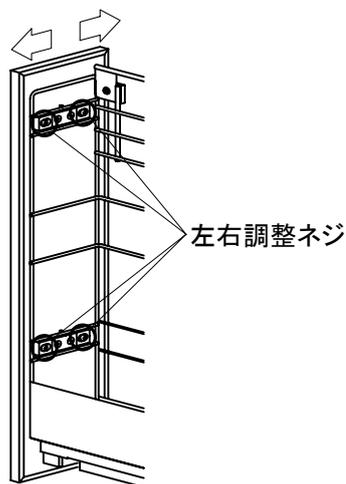
各調整終了後、引出裏面より前板補強定金具を用いてネジで固定してください。



【4. F-TFN15のスライド扉】

○左右調整

左右調整ネジを緩めることにより左右に動きます。調整後、必ず左右調整ネジを締め直してください。



5. 仕上げ

【1. コーキング処理】

ワークトップ周囲等、必要と思われる部分を防カビタイプのシリコンでコーキング処理してください。

【2. 清掃】

ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【1. 安全点検】

①扉の確認

扉の傾き、がたつきや丁番のゆるみがないことを確認してください。

②排水部の確認

排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

③給排水配管と引出の干渉確認(スライドタイプ・足元スライドタイプの場合)

引出が給排水配管、食器洗い乾燥機・浄水器等への分岐配管、シャワーホース等と接触していないか確認してください。接触している場合は、接触しないように配管等の位置を調整してください。

【2. 組込機器の試運転】

キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1. 商品の養生】

すべての設置作業が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2. 取扱説明書の保管・引渡し】

キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書は、とりまとめてキャビネットの引出に収納してお引渡しの際不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管してください。

【3. 梱包材その他設置用部材の処理】

梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号
TEL 06-6962-1531

11002679

3L-1

SK(H)E設置説明書